

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人 弥栄福社会

公益事業	居宅介護支援事業	・居宅介護支援事業	ケアプランやさか	島田 礼子	
	高齢者等生活支援事業	・日常生活援助事業 ・高齢者等安心生活支援事業		島田 礼子	
	住宅型有料老人ホームの経営	・住宅型有料老人ホーム	やさかやすらぎの家	岩田 真美恵	6名

3 役員・評議員等の状況（令和4年3月31日現在）

役職名	氏名	就任年月日(当初)	備考	役職名	氏名	就任年月日(当初)
理事長	石橋 正夫	平14. 7. 22 平20. 3. 29(理事長)		評議員	伊藤 晴子	平14. 3. 19
理事	小松原 和則	平18. 3. 29		〃	王子 幸子	平14. 3. 19
〃	徳田 マスエ	平19. 4. 1		〃	串崎 利行	平26. 3. 19
〃	阪田 誠嗣	平29. 6. 19		〃	栗栖 卓三	平18. 3. 19
〃	小笠原 詞子	令元 6. 27		〃	古賀 五之	平14. 3. 19
〃	太田 奈緒美	令3. 6. 29		〃	日原 政春	平28. 3. 19
監事	宅和 保信	平22. 6. 1		〃	三浦 正明	平29. 4. 1
〃	賀戸 ひとみ	令3. 6. 29				

※理事・監事の任期は令和5年の定時評議員会まで

※評議員の任期は令和7年の定時評議員会まで

4 理事会開催状況

開催年月日	主な議事等
3. 6. 8	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専決事項の報告 ○ 議案審議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度弥栄福祉社会事業報告（社会福祉事業）について ・ 令和2年度弥栄福祉社会事業報告（公益事業）について ・ 令和2年度弥栄福祉社会社会福祉事業決算について ・ 令和2年度弥栄福祉社会公益事業決算について ・ 評議員選任・解任委員会の運営に関する規程の一部改正について ・ 指定介護老人福祉施設特別養護老人ホーム弥栄苑本館運営規則の一部改正について ・ 指定介護老人福祉施設特別養護老人ホーム弥栄苑新館運営規則の一部改正について ・ 弥栄福祉社会弥栄苑事業所運営規程の一部改正について ・ 定時評議員会の開催について ・ 弥栄デイサービスセンター運営規程一部改正について ○ その他
3. 6. 29	<ul style="list-style-type: none"> ○ 議案審議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長の選定について ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第三者委員について
3. 12. 23	<ul style="list-style-type: none"> ○ 専決事項の報告 ○ 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実施状況の報告 ・ 監事の意見 ○ 議案審議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度弥栄福祉社会社会福祉事業区分第1次補正予算について ・ 令和3年度弥栄福祉社会公益事業区分第1次補正予算について ・ 弥栄福祉社会職員就業規則の一部改正について ・ 弥栄福祉社会無期雇用契約職員就業規則の一部改正について

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 弥栄福祉会パートタイム労働者就業規則の一部改正について ・ 弥栄福祉会在宅勤務規程の制定について ・ ケアプランやさか運営規程の一部改正について ・ 寿光苑食事サービス提供業務委託契約の更新について ・ 特別養護老人ホーム弥栄苑及び弥栄デイサービスセンターの食事サービス提供業務の委託契約の更新について
4. 3. 29	<input type="radio"/> その他 <input type="radio"/> 専決事項の報告 <input type="radio"/> 議案審議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度社会福祉事業区分第2次補正予算における積立資産の積立並びに取崩について ・ 令和3年度社会福祉事業区分第2次補正予算について ・ 令和3年度公益事業区分第2次補正予算について ・ 弥栄福祉会職員就業規則の一部改正について ・ 弥栄福祉会育児・介護休業等に関する規程の一部改正について ・ 特別養護老人ホーム弥栄苑夜間警備員設置規程の一部改正について ・ 弥栄ヘルパーひだまり運営規程の一部改正について ・ 弥栄福祉会指定障害福祉サービス事業（居宅介護及び行動援護）運営規程の一部改正について ・ 令和4年度弥栄福祉会事業計画について（社会福祉事業） ・ 令和4年度弥栄福祉会事業計画について（公益事業） ・ 令和4年度社会福祉事業区分予算における積立資産の積立並びに取崩について ・ 令和4年度社会福祉事業区分予算について ・ 令和4年度公益事業区分予算について <input type="radio"/> その他

5 評議員会開催状況

開催年月日	主な議事等
3. 6. 29	<input type="radio"/> 議案審議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 理事及び監事の選任について ・ 令和2年度計算書類（貸借対照表、資金収支計算書及び事業活動計算書）及び財産目録の承認について <input type="radio"/> その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度弥栄福祉会事業報告 ・ その他

6 監事監査状況

開催年月日	監査内容
3. 5. 21 24 25	令和2年度監事監査 法人本部、第1種社会福祉事業（寿光苑・弥栄苑）、第2種社会福祉事業、公益事業
3. 11. 18 11. 29 11. 30	令和3年4月～令和3年9月定期監事監査 法人本部、第1種社会福祉事業（寿光苑・弥栄苑）、第2種社会福祉事業、公益事業

7 弥栄福祉会評議員選任・解任委員会開催状況

開催年月日	内容
3. 6. 10	<input type="radio"/> 決議 <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人弥栄福祉会評議員7名の選任について

計 画		実績または状況	到達度
8 役員等研修			
弥栄福祉会が加盟する団体等が主催する研修会等に参加する。	<ul style="list-style-type: none"> ・経営協セミナー ・地域公益活動推進セミナー ・社会福祉法人役員セミナー ・社会福祉法人監事研修 ・人権研修（講演会） 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画分 社会福祉法人監事研修 12/10 監事出席2人 他は新型コロナウイルスのため未開催 ・その他分 公正採用選考人権啓発推進員研修 8/27 理事長出席 	A
9 キャリアパス（法人職員の昇進経路を明確にすること。）と人材育成			
<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア面接 	5年に1回行う	計画のとおり事業所毎に実施 管理者分能力評価は法人本部において実施し理事長に報告	A
<ul style="list-style-type: none"> ・目標面接 	毎年度4月～5月、2月～3月に実施する		
<ul style="list-style-type: none"> ・能力評価 	12月～1月に実施する		
10 法人職員の健康管理等			
(1) 安全衛生管理活動計画の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会を毎月1回開催 ・定期的な職場の巡視 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月開催（但し8月～10月、12月、1月、3月はコロナ対応により、文書回覧のみ） ・毎月1回実施 	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・雇入れ時の健康診断 ・定期健康診断の実施（毎年1回、夜勤対象職員は年2回） ・腰痛予防対策 ・ストレスチェック実施 ・健康相談（毎月1回事業所外で実施） ・その他安全衛生活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規雇用全員に実施 ・8/25 全員健診実施（夜勤対象職員は3月に実施） ・始業前及び15時の体操の実施 ・腰痛予防ベルトの使用 ・予防研修の実施（弥栄苑） ・9月～10月にかけて実施 ・毎月1回及び希望職員の都合に合わせて随時実施 ・浜田市の行う健活プロジェクトへの参加（寿光苑） 	A

(2)「健康宣言事業所」へのエントリー	ア 健康診断の受診・重症化防止 イ 健康管理・安全衛生 ウ 喫煙対策 エ メンタルヘルス対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健診受診と精検対象者の受診の徹底 ・ 前記項目の実施の徹底 ・ 分煙の徹底と禁煙外来受診の推進 ・ ストレスチェック、健康相談 	A
(3) 年次有給休暇の取得	対象職員の年5日間以上の年次有給休暇取得	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各事業所において把握の上、対象職員の5日以上取得全員達成 	A
11 法人諸事業の総合的運営			
管理者会の開催	事業所の管理者等で構成する管理者会を毎月1回開催し、円滑な事業運営のための状況把握と、運営にかかる課題等の協議を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画のとおり毎月開催、協議を行う 	A
12 事業経営の透明性の推進			
情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業報告・決算資料（財務諸表）など、事務所窓口で公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法人本部窓口にて5年分を設置、公開 	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業経営状況のホームページ等による公表 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当法人ホームページ及び独立行政法人福祉医療機構の電子開示システムにおいて公表 	A
広報誌の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「寿だより」、「ひだまり」の発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各年3回発行 	A
13 地域における公益的な取り組み			
地域貢献活動	事業実施の検討を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 既存の公益事業の継続実施 ・ 弥栄診療所周辺の草刈活動協力(延6人) 	A
浜田市社会福祉法人ネットワーク連絡会	広域的な社会福祉法人の連携・協働による地域公益活動へ取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動検討会議への参加 	A
14 浜田市協働のまちづくりの推進			
浜田市協働のまちづくりの推進	「地区まちづくり推進委員会」の構成員及び推進委員として参画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区まちづくり推進委員会である「弥栄のみらい創造会議」へ委員3人の参画。3人のうち1人は他の団体からの推薦による。 	A

15 避難所としての施設利用等			
弥栄苑の福祉避難所的な役割	大災害時に地域の自主防災組織と連携し施設を福祉避難所的な役割として協力する。	・大災害発生時に、近隣住民に一時的な避難所として利用していただくこととしていたが、災害の発生がなかった。	-
16 住宅型有料老人ホームやさかやすらぎの家の経営			
高齢者の安心・安全な生活を支援	高齢者向けの住まいとして高齢者の安心・安全な生活を支援、安定した経営を目指す。	・計画のとおり実施 利用率は78.8%であった。	B
17 感染症対策及び業務継続に向けた取り組みの強化			
感染症予防、感染症のまん延防止対策の強化等	各事業所における感染症予防、感染症のまん延防止対策の一層の強化等	・法人本部において、各事業所からの情報収集と指示の一元化を行った。	A

18 職員の状況（令和4年4月1日現在）

単位：人

事業所等	職員数	内 訳		令和3年4月1日現在の職員数	備 考
		正規職員	パート職員		
法人本部	2(2)	1(1)	1	2(1)	内 寿光苑兼任2人 再雇用1人
寿光苑	23(2)	11(1)	12(1)	23(1)	内 本部兼任2人 産休中1人 再雇用1人
弥栄苑	54	30	24	54	内 産休中1人 再雇用4人
弥栄デイサービスセンター	10(2)	4(2)	6	10(3)	内 ヘルパー兼任2人
弥栄ヘルパーひだまり	9(2)	3(2)	6	10(3)	内 デイ兼任2人
ケアプランやさか	3	2	1	3	
合計	※2 97(4)	※2 48(3)	※2 49(1)	98(4)	

※1 ()内は兼務職員数

※2 兼任分の重複を除く実数

19 苦情受付内容及び解決結果

		寿 光 苑	弥栄苑 (本館・ 新館・短 期入所)	弥栄デ イサー ビスセ ンター	弥栄ヘ ルパー ひだま り	弥栄ヘ ルパー	ケアプ ランヤ さか	合 計
① 申 出 者	本人	0	0	0	2	0	0	2
	家族	0	1	0	1	0	0	2
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	1	0	3	0	0	4
② 内 容	設備・備品関係	0	0	0	0	0	0	0
	職員の対応	0	1	0	3	0	0	4
	その他	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	1	0	3	0	0	4
③ 結 果	即日解決	0	0	0	0	0	0	0
	数日中に解決	0	1	0	3	0	0	4
	1か月以内に解決	0	0	0	0	0	0	0
	3か月以内に解決	0	0	0	0	0	0	0
	主訴確認不可	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	1	0	3	0	0	4

第2 第一種社会福祉事業

I 養護老人ホーム寿光苑

【経営】

項目	計 画	実 績	到達度
1 収入	・ 事務費収入対象入所率 98%	99%	A
2 支出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年に続き、人手不足等への対応を含め、アウトソーシングやIT・AI化について検討し、実施を試みる。 ・ 光熱水費削減に向けての取組みの継続 ・ 事務作業の省力化及び労務管理に向けた取組みの検討、実施 		A
			A
			A

※ 到達度説明 (以下、他の事業所分報告についても同じ。)

A 計画に対し、100%以上または計画を十分に上回った状態

B 同、80%以上100%未満または計画を達成した状態

C 同、50%以上80%未満または計画をほぼ達成した状態

D 同、50%未満または計画を大幅に下回った状態

— 新型コロナウイルス感染症対策のため実施できなかった状態

【重点目標】

・「3の目標」

① ペーパーレス -3%

: -52%で目標達成

② 水道光熱費削減 -3%

: ±0%

電気料金が値上がりしたため目標達成できなかった

③ ヒヤリ、ハット提出件数 月3件 : 9月は2件、他の月は3件以上提出

・咀嚼機能、口腔衛生が維持できる : 次表中「1 食事」項目の実績欄を参照

【サービス提供】

項目	計 画	実 績	到達度
1 食事	重点: 刻み、荒刻みの増減を確認し、咀嚼機能や口腔衛生の指標とする。	・ ADLが低下した入居者もいたが、1日2回のパタカラ体操の継続で機能維持ができていた。	A
	・ 入所者の日々の状態に留意し、健康や嗜好を考慮した献立を作成する。	・ 計画通り実施	A
	・ 入所者参加型の山菜採りやお菓子作りを実施する。	・ 計画通り実施	A

<p>食事の詳細</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事摂取基準量 1400Kcal～2000Kcal ・ 嗜好調査、残菜調査 ・ 栄養指導 (集団、個人) 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養実績の通り ・ 計画通り実施 ・ 計画通り実施 	<p>A A A</p>
<p>2 排泄</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々のアセスメントを行った上で、入所者の能力に応じた声掛け、ケア、用具の選定を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 	<p>A</p>
<p>3 入浴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入所者の能力にあった方法で、残存機能を活かしたケアを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 	<p>A</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入浴頻度： 介助浴 2回/週、一般浴 3回/週 (夏期はシャワー毎日) 体調不良時は清拭 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 	<p>A</p>
<p>4 機能訓練</p>	<p>重点： 咀嚼・嚥下機能、身体機能が維持できるよう毎朝、体操を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しみながら身体機能を維持できるよう苑内外のレクリエーション等に参加するよう働きかける。 ・ 外部講師による音楽療法 ・ ラジオ体操・下肢訓練体操 ・ スポーツクラブ ・ いきいき教室 ・ 内職作業の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 ・ 計画通り実施 ・ 計画通り実施 ・ 計画通り実施 ・ 計画通り実施 ・ 事業廃止にて不参加 ・ 計画通り実施 ・ ボッチャ導入により身体機能を維持 ・ 8/2 木下作業療法士により介護予防機能訓練実施 	<p>A A A A A - A</p>
<p>5 健康管理</p>	<p>重点： 口腔ケアの指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 入所者の健康を生活の中でトータル的に維持できるように取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 ・ 計画通り実施 	<p>A A</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔ケアの指導を行い、咀嚼できるような口腔環境を整える。 ・ 定期受診、定期健康診断、予防接種等を実施。 ・ 入所直後、集団生活による精神的負担が緩和できるように定期的に精神科診療を設け、精神科医との連携を図る。 ・ 入所者の心身の状態を医学的、看護学的観点からケアに結び付けられるよう各職種と連携する。 ・ 入所者、家族の希望時、看取りに取り組む。 ・ 癌の緩和ケアに取り組む。 ・ アドバンス・ケア・プランニング (これからの治療やケアに関する話し合い) に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施 ・ 計画通り実施 ・ 計画通り実施 ・ 計画通り実施 ・ 計画通り実施 ・ 計画通り実施 ・ 5名実施 	<p>A A A A A A A</p>

6 生活相談	<ul style="list-style-type: none"> 入所者、家族が満足できるような関わりを持つ。目標値 アンケート結果満足度 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 アンケート結果・関連項目 90% ※1 	A B
	<ul style="list-style-type: none"> 入所直後、生活になじめるような関わりをもつ。 入所者間でのトラブル等、解決できるような関わりをもつ。 自立した生活ができるような関わりをもつ。 家族との情報交換を密にして、相談しやすい関係をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 計画通り実施 計画通り実施 計画通り実施 	A A A A
7 教養娯楽	<ul style="list-style-type: none"> 楽しみ、役割を生きがいにつなげる。 <p>目標値： アンケート結果満足度 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 アンケート結果・関連項目 63% ※2 	A C
	<ul style="list-style-type: none"> 興味があることを聞き取りし、実現できるように支援を行う。 内職、スポーツクラブ、カラオケクラブ、大相撲勝敗予想、山菜採り、お菓子作り、花・野菜作り、個人の趣味(囲碁、手芸、パズル、習字等)を継続する。 専用室での映画上映(「気分転館」と呼称する。) 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施(詳細はクラブ、行事実施状況の通り) 計画通り実施 計画通り実施 	A A A
8 介護事故	<ul style="list-style-type: none"> 介護事故を予防できる要因を見つける。 <p>目標：ヒヤリ、ハット月3件以上提出</p>	<ul style="list-style-type: none"> 9月は2件の提出であったが、他の月は3件以上提出し事故予防を図った。 	A
	<ul style="list-style-type: none"> 事故を想定した処遇計画をたて実施する ヒヤリ、ハットの提出 リスクマネジメント研修 点検・器具、設備(ナースコール作動、その他設備全般) 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 	A
9 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> 火災、震災、土砂災害などから、現実的に避難できるような訓練や防犯訓練を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> BCP(事業継続計画)に沿って実施 	A
	<ul style="list-style-type: none"> 訓練(消防、震災、土砂、炊き出し、防犯) 食中毒予防のため、入所者用冷蔵庫点検 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 計画通り実施 	A A
10 苦情	<ul style="list-style-type: none"> ケアの質の向上、満足度を把握し、職員教育に反映する。 <p>目標値：アンケート結果満足度 100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 関連項目アンケート結果 93.4% ※3 	A B
	<ul style="list-style-type: none"> 苦情申し出 アンケート(面会者、家族、入所者) 	<ul style="list-style-type: none"> 受付 0件 計画通り実施 	A

11 家族連携	<ul style="list-style-type: none"> 家族との情報交換を密にし、相談しやすい関係作りをする。目標値 アンケート結果満足度 100% 	<ul style="list-style-type: none"> 関連項目アンケート結果 96.6% ※4 	B
	<ul style="list-style-type: none"> 入所時、「入所のしおり」に基づき丁寧に説明をする。 入所者の心身の状況等、家族へ報告、連絡、相談をし、誠意ある対応に努める。 関係が希薄な家族や、連絡の取りにくい家族に対し、齟齬が生じないよう措置機関と連携する。 家族通信の発行、家族の集い、写真の送付 	<ul style="list-style-type: none"> 新規入所者8名に計画通り実施 計画通り実施 計画通り実施 コロナ感染症予防のため、家族の集い未実施 	A A A A
12 地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域で生活していた入所者が、入所後、孤立せず地域に参加でき、役割や生きがいを感じられるよう取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 	A
	<ul style="list-style-type: none"> 公民館・苑行事餅つきへのボランティア呼びかけ、その他催しへの参加 弥栄小学校・「ふるさと教育推進事業」みそ作りのための大豆選別、持久走、運動会の見学、校外学習の受け入れ 保育所、中学校の神楽訪問、職場体験受け入れ 地域企業との内職取組み。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染症予防のため実施できず 計画通り実施 	- - - A

(注) 施設評価アンケート集計に基づき、「満足」「やや満足」の回答数値割合を記載

※1 家族向けアンケート…24 ページ 問 6-1

※2 入所者アンケート…26 ページ 満足度

※3 家族向けアンケート…25 ページ 問 9(職員が丁寧に対応していますか)

※4 家族向けアンケート…25 ページ 問 10 総合満足度

【人材育成】

1 研修

(1) 職場内研修

月	研修内容	実績	到達度
4月	感染教育（結核・疥癬）	12 職場内研修状況(22 ページ)参照	A
5月	介護後術（ベッド上での洗髪）		
6月	救急対応（AED、救急蘇生法、外傷）		
7月	手洗い		
8月	高齢者虐待について、身体拘束、抑制について		
9月	職員のメンタルヘルスについて		
10月	高齢者虐待について、身体拘束・抑制について		
11月	感染教育（インフルエンザ、ノロウイルス対応）		
12月	介護保険制度（認定までの流れ）		
1月	人権、権利擁護について		
2月	看取りについて、緩和ケアについて		
3月	リスクマネジメント（マニュアルの見直し）		

(2) 職場外研修

研修区分	計画	実績	到達度
第1種研修	新任職員マナー研修 キャリアパス対応・初級 リスクマネジメント研修	計画通り実施	A
その他、行政及び当法人が加入の団体等が行う研修に参加した。（13 職場外研修の状況(22 ページ)参照）			

2 プリセプターシップ

役割	研修内容	実績	到達度
プリセプター (先輩職員)	1年を通じて、自分の担当する業務、看護、介護ケアをプリセプティとともに提供する。 そのなかで看護、介護技術アセスメント、対人関係、自己管理の方法など、広範囲にわたってお手本を示しながら指導を行う。また、座学による指導を行う。	1件	A
プリセプティ (新人職員)	1年を通じて、プリセプターを模範に各種の看護・介護や業務を実践し、フォローをうけながら、知識や技術の定着を目指す。	1件	A

3 キャリア面接

対象	実施予定期間	実 績	到達度
全職員	4月～5月	計画通り実施	A

4 目標面接

対象	実施予定期間	実 績	到達度
全職員	4月～5月、2月～3月	計画通り実施	A

5 能力評価

対象	実施予定期間	実 績	到達度
全職員	12月～1月	計画通り実施	A

【その他】

1 会議・委員会の開催

① 会議

名 称	開催計画	実 績	到達度
職員会議	1回／1ヶ月	計画通り実施	A
ケアカンファレンス	1回／1ヶ月	計画通り実施	A

② 委員会

名 称	開催計画	実 績	到達度
統括リスクマネジメント委員会	4月、7月、10月、1月	計画通り実施	A
感染食中毒予防対策委員会	4月、7月、10月、1月	計画通り実施	A
介護安全対策委員会	1回／1ヶ月	計画通り実施	A
身体拘束検討委員会	4月、7月、10月、1月	計画通り実施	A
給食委員会	1回／1ヶ月	計画通り実施	A
研修委員会	1回／1年	計画通り実施	A
防火管理委員会	6月、10月	計画通り実施	A
防災対策委員会	6月、10月	計画通り実施	A
防犯対策委員会	5月、10月	計画通り実施	A
編集委員会	6月、9月、11月	計画通り実施	A

③ 他の事業所と共催

名 称	開催計画	実 績	到達度
管理者会議	1回／1ヶ月	計画通り実施	A
看護職員会議	2～3回／1年	新型コロナ感染症予防のため未実施	-
安全衛生委員会	1回／1ヶ月	計画通り実施	A

【報告資料】

1 月別入退所及び入退院状況

	月初人員	内障害者 加算人員	入退所		入院の状況	
			入所	退所	入院者実数	入院延日数
3月末	50					
4月	50	37	0	0	1	12
5月	50	38	0	0	1	1
6月	50	38	0	0	1	15
7月	50	38	1	1	0	0
8月	50	39	1	1	0	0
9月	50	39	1	1	0	0
10月	50	39	0	0	0	0
11月	50	39	0	0	1	13
12月	50	38	1	1	3	42
1月	50	37	1	2	2	42
2月	49	38	2	1	2	3
3月	49	38	1	0	1	25
月初平均	49.8	38.2	退所の内訳：特養転所2、措置切れ1、死亡4（内苑で死亡3）			

2 措置機関別入所状況（令和4年3月31日現在）

単位：人

措置(委託)者	男性	女性	計
浜田市	15	32	47
江津市	1	2	3
計	16	34	50

3 入所者要介護度等状況（令和4年3月31日現在）

単位：人

	要支援		要介護					自立	内障がい者 加算対象
	1	2	1	2	3	4	5		
男性	0	0	0	0	0	0	0	16	15
女性	1	1	3	1	0	1	0	27	23
小計	1	1	3	1	0	1	0	43	38
合計	2		5					43	38

4 介護保険サービス利用状況 (令和4年3月31日現在)

単位：人

	訪問介護	通所介護・介護予防通所介護	福祉用具貸与 介護予防福祉用具貸与
男性	0	0	0
女性	4	4	3
計	4	4	3

5 入所者年齢階層別状況 (令和4年3月31日現在)

単位：人、歳

	65歳未満	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	計	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性	0	3	7	5	1	16	76.1	66	95
女性	0	1	4	12	17	34	86.9	67	97
計	0	4	11	17	18	50	83.2	—	—

6 日常生活動作及び精神の状況 (令和4年3月31日現在)

単位：人

	自立		14	着脱	自立		29	身体障害	視覚障害		1	
	杖	9			一部	10			聴覚・平衡機能障害	0		
歩行	シルバーカー		9	食事	全介助		11	精神障害	音声・言語・咀嚼機能障害		0	
	歩行器		12		自立		32		肢体不自由		6	
	車椅子		6		一部		3		内臓機能等の疾患による内部障害		0	
					全介助		0		知的障害		7	
					見守り指示		15		統合失調症		7	
					自立		21		そううつ病		0	
	排泄	昼間	便所	自立	32	入浴	一部	8	精神障害	うつ病		9
				一部	7		神経症			2		
				全介助	0		適応障害			0		
			Pトイレ	自立	5		その他			1		
				一部	3		軽度			9		
				全介助	3		中度			13		
夜間		便所	自立	31	洗濯	自立	24	認知症	重度		10	
			一部	7		アルコール依存症			4			
			全介助	0		爪切り介助			40			
		Pトイレ	自立	6		居室掃除			7			
			一部	3		一部			9			
			全介助	1		全介助			34			
居室		全(オムツ)	2	口腔清潔介助		12						
バルン			0	洗面全介助		1						
はくパンツ			17	水補		22						
尿とりパット			20									
尿器			0									

※ 精神障害、身体障害の数値は重複記載

7 栄養実績

(単位)	エネルギー (kcal)	たんぱく質 (g)	カルシウム (mg)	鉄 (mg)	食塩相当量 (g)
1日当たりの 平均必要量	1634	58.4	600	10	(上限値) 7.5
年間平均 給与栄養量	1616	60.5	684	9.7	8.1
(単位)	ビタミンA (μ g)	ビタミンB ₁ (mg)	ビタミンB ₂ (mg)	ビタミンC (mg)	食物繊維 (g)
1日当たりの 平均必要量	560	0.90	1.07	100	18
年間平均 給与栄養量	692	1.59	1.37	132	13.0

※ 1日当たりの平均必要量とは、令和4年3月31日時点での入居者の状況で算定した1人当たりの1日に必要な量(常食)

- 入居者50人のうち10~15人は、皿に盛りつけたものをお盆にとっていくスタイルのため、実際の献立で算定した量を摂取しているわけではない。

入居者の年齢や身体活動レベルは、60歳後半から90歳後半と幅広いため、個別に摂取量を算定し提供している。

入居者によっては食事量に極端な偏りがあり、食事の際に嫌いなものも食べるように声かけを行うなどの対策をとっているが、個々の体調や嗜好もあるため強制はしていない。

- 昨年の反省点である鉄分と食物繊維の摂取量は、今年度も基準を満たすことができなかった。
- ビタミンAの摂取量は昨年より下回った。

8 特別食等の状況(令和4年3月31日現在)

種別		人数	種別	人数
糖尿	1,200kcal	1	塩分制限	2
	1,400kcal	1	タンパク質制限	0
	1,600~1,720kcal	4	カリウム制限	0
	2,400kcal	1	代替(肉、青魚禁等)	4

9 地産地消の状況

給食の安定供給に欠かせない食材の調達は、危機管理という視点からも委託先の事業者の重要な問題であるが、当法人の意向を理解の上、弥栄町産の食材を次のとおり使用した。

1年間の購入額

- ・米 1,176,133円(税抜)
 - ・野菜類 350,085円(税抜)
- 全体割合 主食100% 他8.5%

10 ヒヤリ・ハット&事故報告書

(1) 種類別報告件数

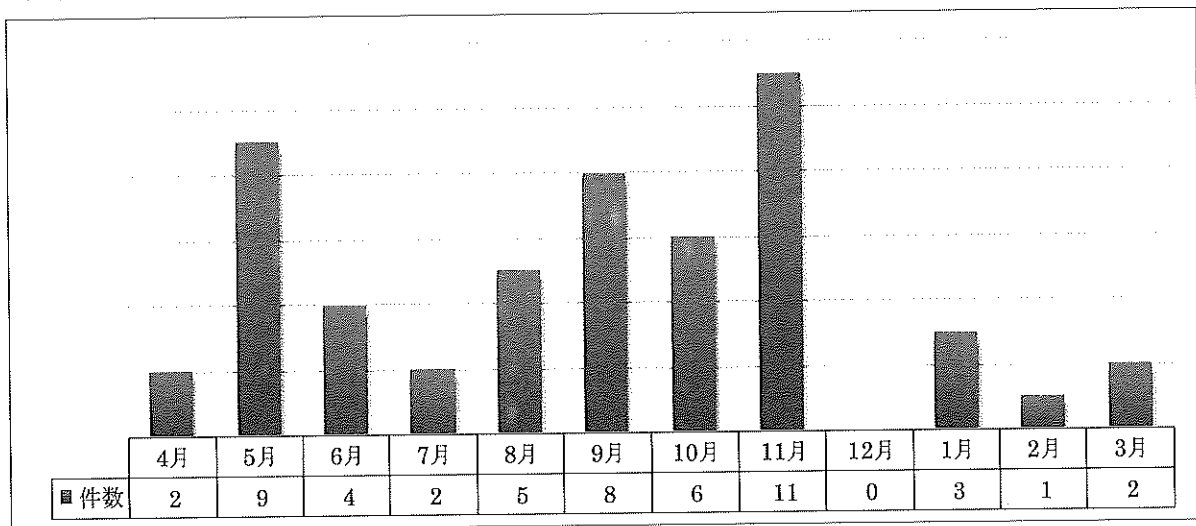
①ヒヤリ・ハット

種類	転倒	転落	誤薬	ざり落ち	紛失	裂傷	打撲	離苑	その他	計
件数	23	3	3	3	0	0	0	5	15	52

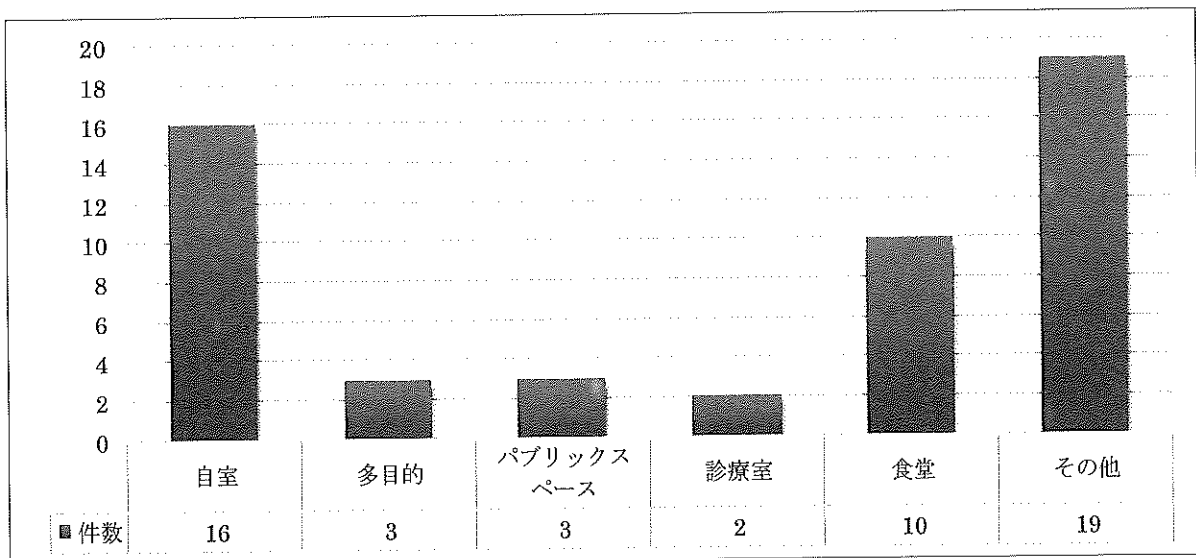
②事故

種類	転倒	転落	誤薬	ざり落ち	表皮剝離	窒息	打撲	離苑	その他	計
件数	22	3	1	9	0	4	0	5	9	53

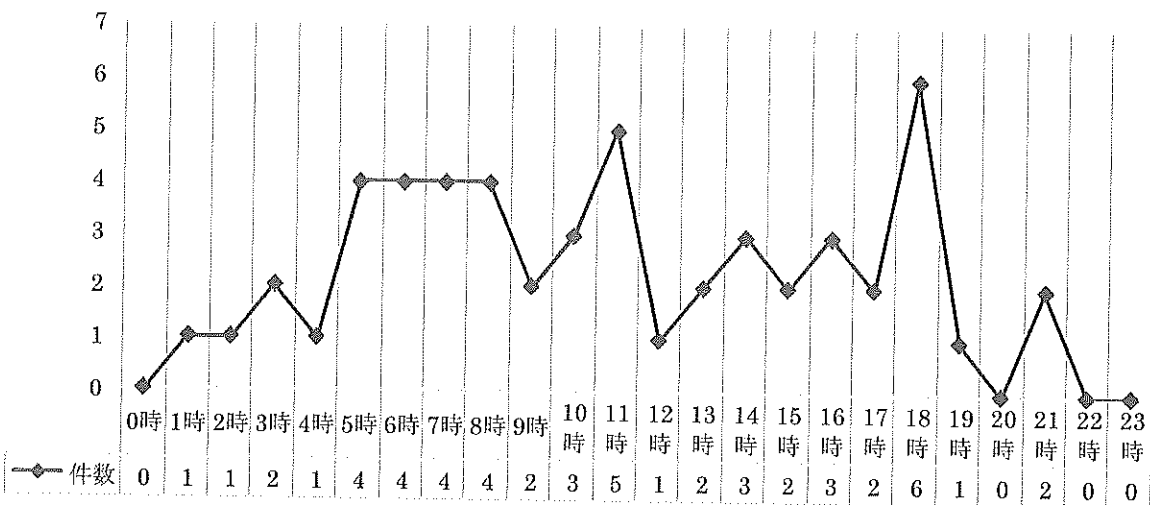
(2) 月別事故発生件数



(3) 場所別事故発生件数



(4) 時間帯別事故発生件数



(5) 自立度、認知症別事故発生件数（転倒の事故のみ）

障がい者	認知症									
	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	計	
自立	1								1	
J-1	1								1	
J-2		1		1					2	
A-1				2					2	
A-2	1	1	2	4	2	1			11	
B-1				1			1		2	
B-2						2			2	
C-1									0	
C-2				1					1	
計	23	3	2	2	9	2	3	1	0	22

〔障がい者高齢者の日常生活自立度（寝たきり度）判定基準〕

(注2) 以下、この基準は後述の他事業所分においても使用のため参照すること。

生活自立	ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する。 1. 交通機関等を利用して外出する。 2. 隣近所なら外出する。
準寝たきり	ランク A	屋内での生活はおおむね自立しているが、介助なしには外出しない。 1. 介助により外出し、日中もほとんどベッドから離れて生活している。 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている。
寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが座位を保つ。 1. 車椅子に移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う。 2. 介助により車椅子に移乗する。
	ランク C	1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替えにおいて介助を要する。 1. 自力で寝返りをうつ。 2. 自力では寝返りもうたない。

〔認知症高齢者の日常生活自立度判定基準〕

ランク	判定基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的に自立している。	
II	日常生活に支障を来たす様な症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
IIa	家庭外で上記IIの状態が見られる。	度々道に迷うとか、買い物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
IIb	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III	日常生活に支障を来たす様な症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。	
IIIa	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない、時間がかかる。やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
IIIb	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIIIaに同じ
IV	日常生活に支障を来たす様な症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIaに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

＜評価＞

- ・ 同一入居者による事故が多く、入居者の特徴としては、理解力の低下と自立度の低下の両者を有する方が事故を起こしている。
- ・ 時間帯別では5時～8時・11時・18時が多く、場所は自室が多い。

＜今後の対策＞

- ・ 転倒の多い入居者には、今後も居室環境の整備等、その都度、対策を検討・実施する。
- ・ 1日に2回のラジオ体操及び下肢機能訓練、嚥下機能訓練を毎日実施しており、一定の効果が現れているため今後も継続していく。参加に消極的な入居者へも声掛けを行っていく。

11 行事実施状況

月日	行事等	月日	行事等
4月 7日	カラオケクラブ	10月 7日	お菓子作り
4月 20日	音楽療法	10月 8日	カラオケクラブ
4月 21日	気分転館	10月 13日	スポーツクラブ
5月 9日	カラオケクラブ	10月 20日	輪投げ大会
5月 12日	輪投げ大会	10月 27日	気分転館
5月 19日	気分転館	10月 29日	こけぼけクラブ
5月 25日	スポーツクラブ	11月 3日	カラオケクラブ
6月 2日	カラオケクラブ	11月 16日	音楽療法
6月 7日	お菓子作り	11月 17日	スポーツクラブ
6月 15日	音楽療法	11月 17日	特別メニューの日
6月 16日	輪投げ大会	11月 25日	気分転館
6月 18日	スポーツクラブ	11月 26日	輪投げ大会
7月 5日	カラオケクラブ	11月 29日	こけぼけクラブ
7月 9日	特別メニューの日	12月 8日	カラオケクラブ
7月 8日	こけぼけクラブ	12月 15日	スポーツクラブ
7月 14日	スポーツクラブ	12月 21日	音楽療法
7月 20日	音楽療法	12月 21日	クリスマス会
7月 28日	気分転館	1月 7日	新年会
8月 2日	介護予防教室	1月 10日	鏡開き
8月 5日	カラオケクラブ	1月 10日	カラオケクラブ
8月 6日	お菓子作り	1月 12日	スポーツクラブ
8月 11日	スポーツクラブ	1月 19日	気分転館
8月 25日	健康診断	1月 21日	こけぼけクラブ
8月 27日	気分転館	2月 3日	節分
9月 1日	カラオケクラブ	2月 10日	カラオケクラブ
9月 7日	生け花クラブ	2月 15日	こけぼけクラブ
9月 8日	敬老会	2月 16日	スポーツクラブ
9月 14日	こけぼけクラブ	2月 21日	輪投げ大会
9月 17日	スポーツクラブ	2月 23日	気分転館
9月 21日	ふるさと訪問	3月 7日	こけぼけクラブ
9月 22日	輪投げ大会	3月 9日	カラオケクラブ
9月 27日	ふるさと訪問	3月 16日	スポーツクラブ
9月 29日	気分転館	3月 17日	お菓子作り
9月 30日	ふるさと訪問	3月 23日	輪投げ大会
		3月 30日	気分転館

12 職場内研修状況

開催月	研修テーマ	講師等	参加人数
4月	感染教育	小笠原詞	17
	震災訓練	田中美	13
5月	防犯訓練	田中美	19
	介護技術(洗髪)	三浦孝	12
	土砂災害訓練、炊き出し訓練	田中美、三浦美	15
6月	ポッチャについて	坂本	16
	新型コロナウイルス感染症対策シミュレーション	小笠原詞	16
	消防訓練	田中美	20
7月	救急対応法	山崎真	12
	手洗い	三浦美	12
8月	高齢者虐待・身体拘束・抑制について(10月実施)		
9月	震災訓練	田中美	11
	メンタルヘルスについて	塩田	12
10月	消防訓練	浜田消防	13
	高齢者虐待・身体拘束・抑制について	田中美	12
11月	感染教育	田中智	16
	土砂災害訓練	田中美	12
	防犯訓練	浜田警察	19
12月	介護保険制度について	石津	11
1月	人権・権利擁護について	櫻田	23
2月	看取り・緩和ケアについて	小笠原詞	12
3月	マニュアルの見直し	介護安全対策委員会	13

13 職場外研修の状況

開催日	主催	研修・会議名	参加者	開催地
5月6日～ 8月1日	トリニティカ レッジ出雲	介護福祉士実務者研修	小笠原沙	出雲
6月15日	石見後見セン ター	石見後見センター定期例会	坂本	浜田
7月29日 ～30日	県老施協	キャリアパス(初級者コース)	坂本	浜田
8月11日	浜田圏域老施 協	入所系新型コロナウイルス感染症研修 会	小笠原詞	浜田

11月16日	石見後見センター	石見後見センター定例会	坂本	浜田
12月7日	県社協	リスクマネジメント I	石津	浜田
12月16日	県社協	しまね DWAT 登録研修会	櫻田	浜田
12月20日	浜田市	新型コロナウイルス感染症対策研修会	小笠原詞	浜田
12月21日	石見後見センター	石見後見センター定例会	坂本	浜田
12月9日	県老協	WEB 会議・研修を円滑に受講するための研修会	塩田	浜田
3月15日	石見後見センター	石見後見センター定例会	坂本	浜田

14 施設、整備関係

- ・ 車イス対応の福祉車両1台購入

15 地域貢献等

- ・ 長安地区空き缶・ゴミ拾い
- ・ 春、秋の交通安全街頭指導
- ・ 子供110番指定施設
- ・ まちかど救急施設
- ・ どんちっち SOS ネットワーク事業への参加
- ・ 地域ケア会議への参加
- ・ 「弥栄診療所周辺的环境整備をしよう会」に参加し、草刈り実施
- ・ 浜田医療センター附属看護学校の実習受け入れ
- ・ 島根大学医学部学生へ見学受け入れ

16 令和3年度家族向け施設評価アンケート集計結果

調査期間： 2021年12月配布

回収率： 69.8% (回収30枚/配布43枚)

※ 集計結果の単位は%で、少数点以下2位までを四捨五入して小数点以下1位までを表示しているため、合計が100%にならないところがあります。

■施設の基本理念、基本方針について

問1：施設の基本理念「安全・信頼・継続」を知っていますか。

知っている	知らない	無回答
83.3	10.0	6.7

■施設サービスの内容について

問2：施設へ入所する時の情報は十分提供されていましたか。該当件数5件

はい	いいえ	無回答
40.0	0.0	60.0

問3：施設の年間行事予定などの事業計画を知っていますか。

はい	いいえ	無回答
73.3	20.0	6.7

問4：現在、通帳を施設に預けていますか。

はい	いいえ	無回答
36.7	56.7	6.7

問5：「預けている」と回答された方で、預けた現金等についての説明に満足していますか。

満足	不満	無回答
40.0	0.0	60.0

「満足していない」と回答された方は理由をお書き下さい。
()

問6：自立支援計画書（個別ケア）について

	満足	不満	わからない	無回答
問6-1 計画の説明、内容に満足していますか	90.0	0.0	0.0	10.0
問6-2 計画は本人、家族の意向が取り入れられていますか	86.7	0.0	3.3	10.0

問7：日常サービス内容について

食事について	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
	66.7	13.3	0.0	0.0	16.7	3.3
入浴の回数、時間について	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
	40.0	23.3	0.0	0.0	33.3	3.3
トイレ等の介助の対応について	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
	53.3	10.0	3.3	0.0	30.0	3.3
自由時間、趣味等の活動について	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
	50.0	16.7	0.0	0.0	30.0	3.3
体調への日常配慮について	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
	80.0	10.0	0.0	0.0	6.7	3.3
病気、怪我の対応について	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
	80.0	10.0	0.0	0.0	6.7	3.3

問8：施設と家族の連携・交流について

入所者の様子、情報提供について	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
	86.7	00.0	3.3	0.0	3.3	6.7
広報誌(寿だより)について	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
	90.0	6.7	0.0	0.0	3.3	0.0
家族の相談に応じていますか	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
	83.3	10.0	0.0	0.0	6.7	0.0

問9：職員の対応について

入所者へのプライバシーの配慮	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
	83.3	3.3	0.0	0.0	10.0	3.3
入所者個々の尊重について	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
	86.7	3.3	0.0	0.0	6.7	3.3
職員が丁寧に対応していますか	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
	86.7	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0
不満、要望を聞く体制について	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
	86.7	3.3	3.3	0.0	3.3	3.3

問10：総合満足度

今の施設を利用して満足ですか	満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答
	83.3	13.3	0.0	0.0	0.0	3.3

問11：自由記載（問6～問10までで不満、やや不満と回答された方はここに理由をお書きください。）

※ 個人が特定されるような内容については記載しておりません。

- 1) いつもこまやかなお心遣いありがとうございます。先日の入所後、初めての面会ができ、兄弟で喜んでおります。私も80歳年並に衰え、色々失敗ばかりしております。お返事等で不都合がありましたらお知らせください。今後ともよろしく願います。
- 2) 食事メニューがわかれば嬉しいです。また日常生活、夜間の様子等知りたいです。いつもお世話になりありがとうございます。
- 3) 寿だよりに最近（今年）は全然本人がでていないので、残念です。以前は、食事の様子がでていたので見るのが楽しみでしたが、今年はいないので楽しくないです。また、コロナで会えない分余計に寿だよりを見るのが楽しみだったが残念です。でていれば保存しているけれど…

17 令和3年度入所者向け施設評価アンケート集計結果

調査期間：2022年2月聞き取り実施 回答率：94%

※ 集計結果の単位は%で、少数点以下第1位まで表示し、合計の少数点以下第1位を四捨五入しているため、その割合の合計が100%にならないところがあります。

問1：内職や自分のできる範囲でお手伝いをしていますか？

はい 63.0% いいえ 36.9%

問2：お手伝いをしている人で、やりがいを感じていますか？

はい 79.3% いいえ 20.6%

問3：お手伝いをしている人で、作業をしていたら1日が早く感じますか？

はい 68.9% いいえ 31.0%

問4：何をしている時が一番楽しいですか？（複数回答可）

・食事	12名 (26.1%)	・音楽療法	2名 (4.3%)
・テレビ	3名 (6.5%)	・カラオケ	4名 (8.7%)
・入浴	2名 (4.3%)	・おやつ	0名
・内職	3名 (6.5%)	・ラジオ	2名 (4.3%)
・趣味	9名 (19.6%)	・デイサービス	3名 (6.5%)
・気分転換(映画)	8名 (17.4%)	・なし	12名 (26.1%)

問5：寿光苑の生活に満足していますか？

はい 63% いいえ 6.5% わからない 30.4%

18 苦情の状況

苦情件数 0件

Ⅱ 指定介護老人福祉施設特別養護老人ホーム弥栄苑 本館

【経 営】

項目	計 画	実 績	到達度
収 入	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の入所稼働率 98% を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 入所稼働率 97.6% 	B
	<ul style="list-style-type: none"> 入所定員：30 床 	<ul style="list-style-type: none"> 5 月～8 月にかけて入院が毎月あった。 入院による空床日数は 151 日、入退所による空床日数は 108 日(入退所 10 人) 	
支 出	<ul style="list-style-type: none"> 感染症や災害への対応力強化を進める。 人材の育成と確保。 介護サービスの質の評価、LIFE (科学的介護情報システム) へのデータ準備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の感染状況により、4 棟に分かれて出退勤し感染防止に努めた。 設備では、陰圧装置を整備した。 採用活動をし、看護職員 2 名を 4 年度に採用することを決定したが、介護職員の確保ができなかった。 3 年度中の退職は、正規職員 2 名と、パートタイム職員 2 名 3 年度中の採用は、パートタイム職員 1 名 定年退職者の介護職員 1 名の 4 年度再雇用を決定した。 栄養士と看護職員が、データ入力講義を受け、活用の準備を行った。 	<p>A</p> <p>C</p> <p>A</p>

【重点目標】

- 介護サービスの質の評価と科学的介護を進める。(入所者ごとにケアの分析を行い、サービスの質を高める。)
 - 今年度は、介護技術研修で「褥瘡 0 を目指して」に取り組んだ。褥瘡になるリスクについて、OHスケールで全入所者の状態を確認した。各棟で褥瘡リスクの高い対象者の予防計画を立案し実践した。実践後、評価や今後の課題についてまとめた。
 - LIFE (科学的介護情報システム) については、業者による入力と活用の説明を受け準備に取り組んだ。

【サービス提供】

項目	計 画	実 績	到達度
1. 食事	<ul style="list-style-type: none"> 入所者個々の栄養ケア・マネジメントを行い、状態にあった食事を提供する。 可能な限り離床して食事を摂る。 	<ul style="list-style-type: none"> 栄養状態の悪い入所者に対し栄養補助食品等を提供して栄養を補い、また、食事形態は、その都度見直して入所者にあった食事を提供した。 30人中21人が離床して食事をしている。 	A
2. 排泄	<ul style="list-style-type: none"> 身体能力に応じた排泄を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各入所者に適切な排泄を支援した。 	A
3. 入浴	<ul style="list-style-type: none"> 身体の清潔保持のため快適な入浴を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> その日の体調にあわせ入浴日を調整し支援した。 	A
4. 機能訓練	<ul style="list-style-type: none"> 嚥下機能の維持と日常生活動作の中での動作訓練を行う。 楽しみ、意欲を持ちながら訓練する場を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活動作の維持のため、個々の状態にあった車椅子・福祉用具の検討を行い使用した。 個々の身体状態にあわせ、手作業の機会を設けたり、行事等も組み入れながら実施した。 	A
5. 健康管理	<ul style="list-style-type: none"> 心身共に健康に過ごすことができるよう、日々の健康管理を行う。 入所者の既往歴、服薬情報等を整理し、根拠に基づいた介護につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> バイタル、日々の表情や食事・排泄等の様子を観察し、健康管理を行った。 既往歴、服薬情報の確認をし、病状に伴う服薬の変更は他職種と情報を共有し、根拠に基づいた介護につなげた。 	A
6. 相談及び援助	<ol style="list-style-type: none"> 入所者の心身の状況、適切な生活環境の把握。 入所者、家族に常時必要な相談及び援助を行う。 	<ol style="list-style-type: none"> 心身の把握を行い、生活環境面で支障があれば改善策を協議し、対応した。 各職種で情報を共有し必要な援助を行った。 	A
7. 社会生活上の便宜の提供	<ol style="list-style-type: none"> 入所者が充実した日常生活を送ることへの支援。 入所者と家族との連携及び入所者とその家族との交 	<ol style="list-style-type: none"> コロナ禍であるため、行事等は要望を聴きながら棟内で実施した。 前年度と同様に、感染症の流行で家族会は中止 	A

	<p>流支援。</p> <p>③ 入所者の外出の機会を確保。</p> <p>④ 入所者が必要とする、証明等の交付申請などの代行。</p>	<p>した。「家族通信」や、電話等で入所者の状態を説明し、家族との連携に努めた。</p> <p>③ コロナ禍で外出行事ができず、苑外の散歩等で外気に触れる機会を確保した。</p> <p>④ 入所者、家族からの依頼を受け、申請などを代行した。</p>	
8. 苦情対応	<ul style="list-style-type: none"> 施設に対する意見等に真摯に対応し改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 苦情 1 件 新館の苦情とつながっており、事実確認後、会議を開催し、改善策を身元引受人に報告し謝罪をした。 要望や問い合わせ等は相談受付表に記載して職員へ周知し、要望に応え改善に努めた。 	B
9. 介護事故	<ul style="list-style-type: none"> 事故発生防止のための指針の整備。 事故が発生した場合の、分析を通じた改善策を職員に周知徹底する体制の強化。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施した。 事故報告・改善策の周知の体制を確認した。また、浜田地区広域行政組合への介護事故の報告を行った。 <p>※ 報告件数 5 件</p>	A
10. 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> 感染症や災害への対応力を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議でコロナ対策について協議し、入所者だけでなく職員の健康管理も徹底することを周知した。また、ゾーン毎の対応も協議し実施した。 設備の点検の実施 	A
11. 地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 施設が地域に開かれたものとして運営できるよう、地域との繋がりを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 面会可能な時期は所定の場所で面会を実施。 地域行事や苑の行事は感染症の流行で中止や開催ができなかった。 浜田地区広域行政組合が実施する介護相談 	A

		員の派遣は、電話や ZOOM に対応をした。 (11月・12月)	
--	--	--	--

【人材育成】

1 施設内研修、施設外研修についての詳細は、報告資料 13 に記載

2 目標面接

対象	実施期間	到達度
全職員	6月～7月 / 1月～2月	A

3 能力評価

対象	実施期間	到達度
全職員	1月～2月	A

【その他】

1 会議・委員会の開催（弥栄苑新館との共通開催）

(2) 会議

名称	所掌事項等	実績	到達度
主副者会議	内部異動、施設運営、処遇改善、職員研修、職場環境の改善に関する こと、その他、入所(居)者の処遇改 善及び職場環境の改善に関するこ と 新型の感染症のリスクについて 検討など	・ 不定期であるが、理事 会・管理者会議等の前 後に開催、情報共有を 行った。	A
リーダー会議	各棟の取組や問題点の検討、各棟 間の情報交換、施設全体のサービ スの均等化、各委員会の取組み状況 の把握、その他、入所(居)者の処遇改 善及び職場環境の改善に関するこ と 新型の感染症の対応について検 討など	・ 棟会議・委員会活動 の情報共有や職員研 修、職場の環境改善、 入所者の処遇改善、感 染症の対応について協 議・検討した。 (12回/年)	A
棟会議	棟の目標設定と反省、入所(居)者 の処遇に関する事項 (QOL向上に 向けた意見交換とケアの統一)、そ の他、棟運営に関すること	・ 入所者の処遇改善、 委員会の研修、棟の業 務改善、翌月の行事等 の連絡、感染症の対応 について協議した。 (12回/年)	A
サービス担当者 会議(カンファ レンス)	施設サービス計画書の評価と新 プランの作成、施設サービス計画に 関すること	・ 提供したサービスの 評価と、家族・入所(居) 者の意向を施設サービ	A

		ス計画書に反映しサービスを提供した。	
全体会議	処遇、サービスの改善に関すること、職場環境の改善に関すること（意見交換）、緊急に徹底する必要がある場合（苦情、事故発生時等）、その他、全体で協議を行うことが必要な場合に開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4/20、5/21、8/19、8/30、9/8、10/16、10/28、1/11、1/12、1/20、2/20、市内のコロナの陽性者の動向を確認し対応の周知を行った。 (11回/年)	A

(2) 委員会

名称	所掌事項	実績	到達度
安全委員会	<ul style="list-style-type: none"> ① 入所（居）者及び職員の安全対策について ② 職員の安全衛生対策について ③ 感染症予防・発生時の対策について ④ 苦情処理及び紛争対策について 	<ul style="list-style-type: none"> ① 施設内の安全点検実施。啓発目標を各棟に配布し事故予防の周知をした。 ② 腰痛予防体操や、腰痛ベルトの普及に努めた。 メンタルヘルスチェックの実施 ③ 6/24、8/19、9/8、11/26 に研修会や委員会を開催し、感染症の発症に備えた。 ④ 12/9 に介護事故のリスクマネジメントについて動画研修を実施し、説明責任について学んだ。 (委員会開催回数 11回/年) 	A
サービス向上検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ① 身体拘束の廃止に関すること ② 虐待防止に関すること ③ サービスの質の向上に関すること ④ 安全・快適な職場環境づくりに関すること 	<ul style="list-style-type: none"> ① 身体拘束 0 件 3 ヶ月ごとに、委員会を開催。研修を計画し実施した。 ② 研修を実施。 ③ 身体拘束と併せて介護技術の研修を実施。「褥瘡 0 を目指して」をテーマに各棟で実践した。 ④ 職員アンケートを行い、委員会で検討し職 	A

	<p>⑤ 職員研修に関すること</p> <p>⑥ 身体拘束等適正化、虐待防止検討会の開催</p>	<p>場環境の改善に努めた。</p> <p>⑤ サービス向上委員会の中で計画し実施した。</p> <p>⑥ 身体拘束適正化委員会開催回数3回/年 虐待防止の委員会開催回数2回/年</p>	
入所(居)検討委員会	<p>① 入所(居)決定の審議に関すること</p> <p>② 入所(居)待機者順位名簿の調整と入所(居)決定に関すること</p> <p>③ その他、入所(居)検討上必要な事項</p>	<p>・ 2回開催した。</p>	

(3) 他事業所と共催

名称	目的等	開催	到達度
給食委員会	入所(居)者・利用者に最適な食事を提供するための協議	・ 毎月1回開催した。	A
防火管理委員会	施設の防火管理業務の適正な運営を図ること	・ 6月と10月に開催し防災について協議した。	A
環境美化委員会	施設内外の環境の保全と美化を推進すること	・ 毎月、棟内の環境保全・美化活動を実施した。	A
広報編集委員会	広報紙「ひだまり」の編集	・ 広報紙を6月、11月、2月に発行した。	A
看護職員会議	各事業所利用者の情報交換、資質向上のための疾病等の勉強会、職員の健康・衛生管理、特にメンタルヘルス対策の充実、その他、看護職として必要な事項の協議	<p>・ 各事業所との情報交換の開催はなし。</p> <p>・ 毎月会議を開催し、苑の看護職員で入所(居)者の健康管理について情報共有を行った。</p>	A
管理者会議	円滑な事業運営を行う為、各事業所の運営状況の把握及び運営に係る課題の協議を行う	・ 1回/1ヶ月開催	A
役職者研修	<p>組織及び役職者としての役割の理解と実践</p> <p>自己のメンタル管理と自分で考える力を身につける</p>	・ 1回/1ヶ月開催	A

【報告資料】

1 月別利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
入所者	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	2	3	10
退所者	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	4	1	10
入院者	1	2	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	10
退院者	1	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	5
延日数	介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護度2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	介護度3	53	65	80	93	93	90	93	90	93	93	87	1,037
	介護度4	450	449	420	409	332	360	372	360	372	341	308	4,583
	介護度5	390	387	380	389	448	450	465	450	447	472	415	377
延べ人数計	893	901	880	891	873	900	930	900	912	906	810	894	10,690
1日当り人数	29.8	29.1	29.3	28.7	28.2	30.0	30.0	30	29.4	29.2	28.9	28.8	29.3
入所率(%)	99.2	96.9	97.8	95.8	93.9	100.0	100.0	100.0	98.1	97.4	96.4	96.1	97.6
平均介護度	4.37	4.35	4.34	4.33	4.40	4.40	4.40	4.40	4.38	4.41	4.40	4.30	4.37
平均在所年	3.33	3.33	3.25	3.25	3.16	3.25	3.33	3.41	3.58	3.50	3.41	3.08	3.05

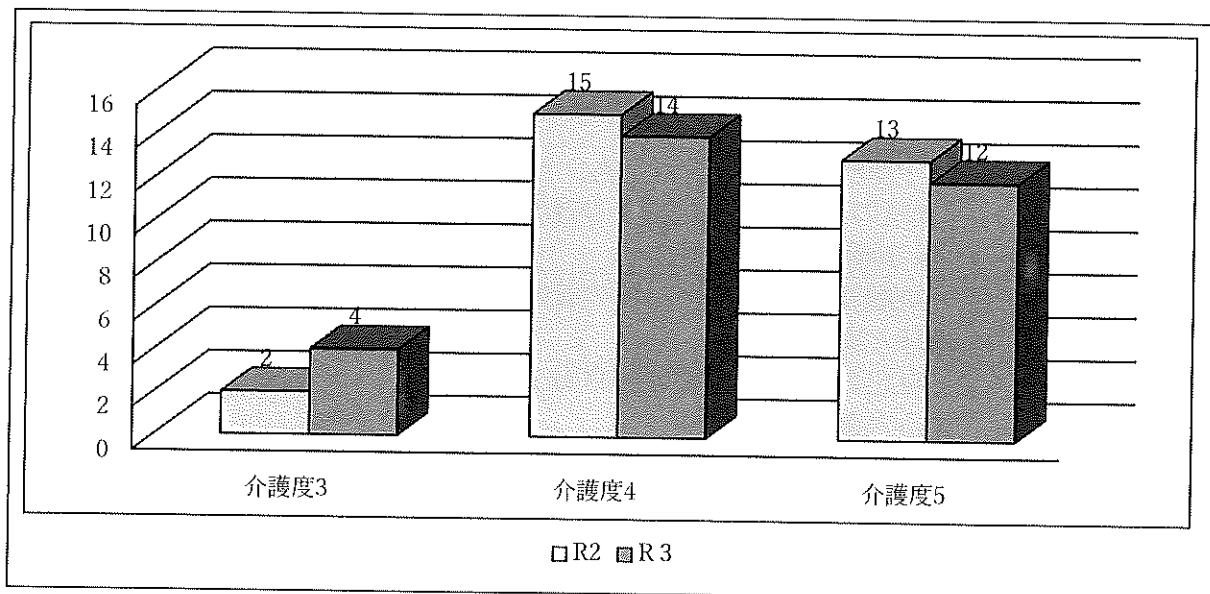
※ 入院者は月をまたいで継続している入院を含む。

2 介護度別の月末入所者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護3	R 2	2	2	3	2	2	2	2	2	2	1	2	2
	R 3	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4
要介護4	R 2	16	14	14	15	15	15	15	15	15	16	15	15
	R 3	15	15	14	14	12	12	12	12	12	11	11	14
要介護5	R 2	12	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
	R 3	13	12	13	13	15	15	15	15	15	16	14	12

(1) 介護度別の入所者数

(令和4年3月31日時点)



3 入所者のADL（日常生活動作）の状況

(令和4年3月31日現在)

区分		にじ		たいよう		合計				
		男	女	男	女	男	女	計		
移動	自立歩行	0	0	0	0	0	0	0		
	杖、歩行器使用	0	1	0	1	0	2	2		
	車椅子使用(自操)	0	1	0	0	0	1	1		
	車椅子使用(他操)	2	9	0	9	2	18	20		
	リクライニング使用	0	1	0	6	0	7	7		
食事	自立	1	5	0	6	1	11	12		
	一部介助	0	5	0	1	0	6	6		
	全介助	1	2	0	8	1	10	11		
	胃ろう	0	0	0	1	0	1	1		
入浴	自立	0	0	0	0	0	0	0		
	一部介助	0	3	0	6	0	9	9		
	全介助	2	9	0	10	2	19	21		
着脱	自立	0	0	0	0	0	0	0		
	一部介助	0	6	0	7	0	13	13		
	全介助	2	6	0	9	2	15	17		
排泄	昼間	便所	自立	0	0	0	0	0	0	0
			一部介助	0	4	0	5	0	9	9
			全介助	0	0	0	0	0	0	0
		ポータブル	自立	0	0	0	0	0	0	0
			一部介助	0	2	0	1	0	3	3
			全介助	2	6	0	1	2	7	9
	おむつ	全介助	0	0	0	9	0	9	9	
	夜間	便所	自立	0	0	0	0	0	0	0
			一部介助	0	0	0	0	0	0	0
			全介助	0	0	0	0	0	0	0
		ポータブル	自立	0	0	0	1	0	1	1
			一部介助	0	3	0	2	0	5	5
			全介助	0	0	0	0	0	0	0
		おむつ	全介助	2	9	0	13	2	22	24
バルーン留置		0	2	0	2	0	4	4		

4 認知症高齢者の日常生活自立度

(令和4年3月31日現在)

I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
1	1	3	10	4	7	4	30

5 入所者の入所前及び退所の理由の状況

単位：人

	入所前						退所理由				
	在宅	病院	老健	養護	その他施設	合計	在宅	病院(死亡)	死亡	その他施設	合計
男性	0	1	1	1	0	3	0	1	2	0	3
女性	0	0	2	0	2	4	0	2	5	0	7
合計	0	1	3	1	2	7	0	3	7	0	10

6 年齢階層別入所者状況（令和4年3月31日現在）

単位：人、歳

	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	100歳以上	計	年齢		平均年齢
							最高年齢	最低年齢	
男性	0	1	1	0	0	2	81	74	77.5
女性	0	2	9	16	1	28	101	73	90.8
合計	0	3	10	16	1	30			89.9

7 在所期間の状況（令和4年3月31日現在）

単位：人、年

	0～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年以上	平均在所期間	最長在所期間	最短在所期間
男性	2	0	0	0	0	0	0.44	0.08	0
女性	7	7	7	6	0	1	3.34	15.6	0
合計	9	7	7	6	0	1	3.12		

※ 男女合計30人の平均在所期間は3.12年、1年未満の入所者は9名で全体の30%を占める。

8 行事等の実施状況

(1) 地域行事

前年度と同様に、新型コロナウイルスの影響で、地域の行事が中止となり、地域へ出て交流する機会はなかった。

毎年9月の敬老月間に行われる三隅町・弥栄町民生委員の友愛訪問は、今年度は代表の方がお祝い品を持参され、お祝い品を預かり関係の入所者の皆さんの様子を伝えた。

月 日	内 容	参加者数		備考
		対象者	家族、地域 その他	
9月8日	三隅町民生委員友愛訪問	本館 6名 新館 2名	民生委員3名	玄関でお祝い品を受取り
9月13日	弥栄町民生委員友愛訪問	本館 13名 新館 10名	民生委員3名	玄関でお祝い品を受取り
2月25日	弥栄中学生職場訪問	中学生1名		弥栄苑の概要等について説明

(2) 本館行事

月	にじ棟		たいよう棟	
	内 容	人 数	内 容	人 数
4月	ふれあいタイム	11名 ショート4名		
	あんこを食べる	12名 ショート1名		
5月	野菜の苗植え	3名	ふれあいタイム	8名
	ゴーヤの苗植え	1名	折り紙	3名
	玉ねぎ収穫	11名	苑外散歩	10名
6月	ふれあいタイム	10名		
	野菜の販売	2名		
7月	七夕の飾りつけ	11名 ショート1名	七夕の飾りつけ	10名
	ホットケーキ作り	10名	ふれあいタイム	9名
	トマトの収穫	ショート1名		
	すいかの重さあて	13名 ショート1名		
8月	ふれあいタイム (お茶会)	12名		
	麻雀	1名		
9月	敬老会	12名 ショート2名	敬老会	14名 ショート4名
			牛乳寒天づくり	7名
			ふれあいタイム	9名
10月	ボール投げ	9名		
	苑外散歩	1名		
11月	苑外散歩 (紅葉)	3名	苑外散歩 (紅葉)	2名
	芋洗い	1名	ふれあいタイム	6名
	焼き芋	14名 ショート3名		
	ふれあいタイム	13名 ショート1名		
12月	チキンラーメンを食 べよう	14名 ショート2名	クリスマス会	16名 ショート3名
	紐結び	1名 ショート1名		
	ツリー飾りつけ	8名		
	クリスマス会	14名		
	ふれあいタイム	12名		
	命日にお経を	1名		
	ツリーの片づけ	7名		

1月	新年会・カルタ会	13名 ショート1名	新年会・お茶会	16名 ショート3名
	書初め	9名 ショート2名	ふれあいタイム	12名 ショート2名
	けん玉	7名		
2月	牛乳寒天作り	1名		
	節分	12名 ショート1名		
	ふれあいタイム	10名		
3月	麻雀	1名	ひな祭り（声を出す）	5名
	ひな祭り	13名 ショート2名	中庭散歩	2名
			ふれあいタイム	11名

(3) 家族と食事会(誕生日)

入所者の誕生日に家族を招いて行う食事会は、新型コロナウイルスの影響で開催しなかった。

各棟で、誕生日のお祝いを行った。

(4) バイキング・行事食実施状況 (弥栄苑新館と共通開催)

バイキングの状況		行事食の状況	
5月	甘味処バイキング	4月	節句 : 菜の花ご飯、ばら寿司
6月	泥落としバイキング		花まつり : さくらご飯
7月	スイーツバイキング	5月	端午の節句 : たけのこご飯
8月	パンバイキング	7月	七夕 : そうめん
			土用丑の日 : うなぎ丼
		8月	お盆 : ひつまぶし、鯛そうめん 団子
			即席麺の日 : ラーメン
		9月	敬老の日 : お寿司、おはぎ
		10月	体育の日 : 芋ご飯、山菜ご飯
		12月	クリスマス : ケーキ、チキン、刺身
			おおみそか : 年越しそば、くじらご飯
		1月	お正月 : おせち 小豆粥
			七草 : 七草がゆ
			鏡開き : お汁粉
		2月	節分 : 巻き寿司、そば
3月	ひなまつり : お寿司、おはぎ		
	彼岸 : おはぎ		

(5) ボランティア受け入れ状況 (弥栄苑新館と共通事項)

訪問日	個人・団体名	内容	備考
4月15日	三浦召後 様	草刈り	
12月22日	三浦召後 様	草刈り	
12月26日	三浦召後 様 三浦勝美 様 太田和男 様	門松設置	
1月4日	三浦召後 様 三浦勝美 様	門松片付け	

9 嗜好調査

(1) 共通事項 (自分で答えられる方)

① 食事の内容はどうか

	にじ棟	たいよう棟
	9/14人	7/16人
ア. だいたい良い	6	2
イ. まあまあ	3	3
ウ. 良くない	0	2

② 食事の味付けはどうか

	にじ棟	たいよう棟
ア. だいたい良い	9	4
イ. 濃い	0	1
ウ. 薄い	0	2

③ 食事量はどうか

	にじ棟	たいよう棟
ア. だいたい良い	5	4
イ. ちよつと多い	4	2
ウ. 少ない	0	1

④ おかずは食べやすい大きさですか

	にじ棟	たいよう棟
ア. だいたい良い	9	7
イ. 大きい	0	0
ウ. 小さい	0	0

⑤ 一番、好きなものはなんですか

魚 (3名)	スイーツ (2名)	あんこ	お刺身・寿司 (2名)	白菜の漬物
キムチ	ぜんざい	天ぷら	特にない (4名)	

⑥ 嫌いな食べものはなんですか

天ぷら	おかゆ	おくら	トマト	肉
キウイ	にが味の	辛いもの (2名)	パサパサしているもの	味がうすい
別がない (4名)				

⑦ 食事のことで、感じておられることはなんですか

にじ棟	<ul style="list-style-type: none"> ・別がない (3名) ・酸っぱい ・回答なし (5名)
たいよう棟	<ul style="list-style-type: none"> ・歯が悪いからかたい物がたべにくい ・別がない (3名) ・わからない。 ・良い ・回答なし (2名)

(2) 共通項目 (自分で答えられない方)

① 食事の内容はどうですか

	にじ棟	たいよう棟
	5/14人	9/16人
ア. だいたい良い	4	3
イ. まあまあ	1	5
ウ. 良くない	0	0

② 食事の量はどうですか

	にじ棟	たいよう棟
ア. だいたい良い	3	5
イ. ちよつと多い	2	3
ウ. 少ない	0	0

③ おかずは食べやすい大きさですか

	にじ棟	たいよう棟
ア. だいたい良い	4	8
イ. 大きい	1	0
ウ. 小さい	0	0

④ 食べやすい・飲み込みが良い料理はどんな料理ですか

<にじ棟>

味の濃いおかず (2名)	甘い物・デザート (2名)	粥
--------------	---------------	---

<たいよう棟>

しっかり味がわかるもの (3名)	甘いもの・デザート(6名)	
------------------	---------------	--

⑤ 食べにくい・飲み込みが悪い料理はどんな料理ですか

にじ棟	<ul style="list-style-type: none">・主食のミキサーや汁のミキサー・野菜とか口に残るもの・ドロットしたもの、かたいもの
たいよう棟	<ul style="list-style-type: none">・ミキサーのかたく口に残るようなもの・ミキサーのかたい時・かたく口に残るようなものがある時・魚 (2名)

⑥ 食事のことで、感じておられることがありますか

にじ棟	・味覚が鈍くなっている感じがします。
たいよう棟	・ミキサーがかための時は、汁でゆるめている。

10 お楽しみ調査

	にじ棟 14/14名		たいよう棟 16/16名		全体 30/30名	
	自分で答えられる方 9名	自分で答えられない方 5名	自分で答えられる方 7名	自分で答えられない方 9名	自分で答えられる方 16名	自分で答えられない方 14名
家族、親戚の面会	3	3	7	8	10	11
食べること (食事・おやつ)	6	5	5	4	11	9
職員と棟の利用者 で料理をすること	1	0	1	0	2	0
お風呂に入ること	4	2	3	2	7	4
外出(散歩等)	3	1	2	1	5	2
趣味活動/折り紙 貼り絵・体操・歌・カラオケ	1	0	1	0	2	0
弥栄苑の売店 での買い物	0	0	0	0	0	0
自宅へ帰ること	1	1	4	0	5	1
グループで活動すること ふれあいタイム	1	0	2	2	3	2
職員・仲間等とお しゃべりをする事	6	2	5	2	11	4
未実施(入院)	0	0	0	0	0	0

※ 調査の結果は、行事に反映させた。

11 入院状況

(1) 月別入院状況 (人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
R2	1	1	1	1	0	1	0	1	1	1	0	2	10	0.8人
R3	1	2	1	3	3	0	0	0	1	1	0	0	12	1人

※ 入院理由： 左大腿骨骨折2名、誤嚥性肺炎3名、胆管癌1名 S字結腸癌1名、胆管癌1名、腎盂腎炎1名、脳出血1名

(2) 月別入院状況 (日数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
R2	6	19	30	7	0	19	0	2	31	13	0	14	141	11.7日
R3	7	24	10	31	51	0	0	0	14	12	2	0	151	12.5日

(3) オンコール件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2	0	1	0	1	0	0	2	1	1	5	0	13

※ オンコールの内容は、胸痛1件、血尿1件、嘔吐1件、転倒1件、発熱1件、管の閉塞3件、意識低下の対応1件、看取り3件、表皮剥離1件

(4) 看取りの状況 退所者10名のうち7名の看取りを行った。

12 ヒヤリハット・事業報告書

(1) 月別ヒヤリハット発生件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
にじ	1	0	0	0	2	2	2	0	0	0	2	3	12
たいよう	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
合計	1	0	0	0	2	2	3	1	0	0	2	3	14

(2) 種類別事故発生件数 (前年度と比較)

		転倒	転落	ずり落ち	打撲	裂傷	表皮剥離	誤嚥誤飲	誤薬	異食	離棟(徘徊)	離苑(行方不明)	骨折	しりもち	内出血	その他	合計
R2	にじ	3	0	2	0	1	0	0	2	3	0	0	1	0	5	1	18
	たいよう	1	0	1	0	3	3	0	1	1	0	0	0	0	2	3	15
R3	にじ	2	5	5	0	3	2	0	2	3	0	0	1	2	2	3	30
	たいよう	0	0	0	0	1	3	0	1	0	0	0	2	0	4	1	12

※ 転落事故が5件あった。その内4件の事故は1名の入所者によるもので、臥床時は、ベッドを低床にして床にマットレスを敷いた。離床時は、車椅子ではなくソファに座り替えて過ごしていただいた。

骨折事故3件は、自分でトイレに行かれる入所者の骨折事故、エアーマットを使用中の入所者が柵を乗り越える骨折事故などであった。

※ 転落事故で骨折した場合は、転落でなく骨折でカウントしている。

※ 保険で対応した事故2件。

13 研修

(1) 職場外研修の実施状況 (弥栄苑新館と共通)

開催日	研修会名	研修主催 団体名	場所	参加者	研修の 報告方法
5/30	浜田地区栄養士会総会	浜田地区栄養 士会	浜田市	市木千代子	復命不要
6/7 ~8/11	介護支援専門員更新研修	島根県	浜田市	山崎 淳広	復命不要
6/10 ~R3.12/9	介護福祉士実務者研修	株式会社グロ ーバル	浜田市	奥本 雅次	復命不要
6/17	状態変化に気づくことの大切さ オンライン研修	施設内	弥栄苑	渡邊 摩耶	復命
7/2	島根県老人福祉施設協議会総会	島根県老人福 祉施設協議会	松江市	岩田真美恵	復命不要
7/17	介護報酬改定における栄養関連加 算に係る研修会	公益社団法人 日本栄養士会	弥栄苑	市木千代子	復命
7/28	褥瘡、誤嚥性肺炎、転倒・転落の 対策 施設専用車椅子	株式会社モル テン	弥栄苑	三澤 興平 松並 弘明 幸田 摩耶	復命
8/5~22	介護施設における安全対策担当者 養成研修	全国老人福祉 施設協議会	弥栄苑	岩田真美恵 山崎 淳広	復命
8/11	介護施設における新型コロナウイ ルス感染症への対応 (前半・後 半)	浜田圏域老人福 祉施設協議会	浜田市	岩田真美恵 牛尾 泉	復命
11/1 ~11/26	ユニットリーダー研修	島根県高齢者福 祉課	弥栄苑	三澤 興平	復命
11/11 ~R4.2/8	認知症介護実践者研修	島根県社会福祉 協議会	浜田市	小松原怜英	復命
12/7 ~R4.1/18	市民後見人養成講座	浜田市社会福祉 協議会	浜田市	山崎 淳広	復命
12/20	新型コロナウイルス感染症対策研 修会	浜田市健康医 療対策課	浜田市	岩田真美恵 牛尾 泉	復命

(2) 職場内研修 (本館・新館共通開催)

月	委員会	内容	講師	実績
4月8日	安全委員会①	・感染症まん延防止について	岩田真美恵	14名
4月12日	弥栄診療所・施設連携会議	・新型肺炎・災害について		5名
4月13日	サービス向上検討委員会①	・身体拘束等適正化について	岩田真美恵	14名
4月20日	全体会議	・新型肺炎の対応について		15名

5月15日	サービス向上検討委員会	・ 弥栄福祉会の虐待防止規程	岩田真美恵	13名
5月19日	弥栄診療所・施設連携会議	・ 新型コロナウイルス・災害について		4名
5月21日	全体会議	・ 浜田市内のコロナ陽性拡大	岩田真美恵	19名
6月21日	サービス向上検討委員会	・ 褥瘡0を目指して（講義）	谷口芽生恵	本館11名
	〃	〃	奥本 雅次	新館16名
6月24日		・ 消防訓練（日中想定）	岩田真美恵	本館11名
				新館15名
				その他6名
6月24日	安全委員会	・ 感染症の対応全体研修 （ガウンテクニック等）	安全委員(5名)	本館11名
				新館11名
				その他2名
7月8日	安全委員会②	・ 感染症まん延防止の指針	岩田真美恵	12名
7月9日	サービス向上検討委員会②	・ 身体拘束等適正化 （ロールプレイから）	岩田真美恵	委員11名
7月21日	安全委員会	・ 食中毒研修（新館）	市木千代子	新館13名
		・ 防災研修（地震）	岩田真美恵	〃
7月29日	安全委員会	・ 食中毒研修（本館）	市木千代子	本館11名
		・ 防災研修（地震）	岩田真美恵	本館11名
8月5日	安全委員会	・ ゾーン分けの確認	浜田保健所	委員2名
8月12日	サービス向上検討委員会	・ 褥瘡0を目指して （グループワーク）	三澤興平と 研修部門委員	本館9名
				新館13名
				その他1名
8月17日	リーダー会議	・ 新型コロナウイルス対応 （研修復命）	岩田真美恵	11名
		・ 〃	〃	〃
8月19日	本館会議	・ 緊急時の対応訓練（本館）	安全委員	11名
	安全委員会	・ 新型コロナウイルス対応 （研修復命）	岩田真美恵	10名
8月27日	新館会議	・ 緊急時の対応訓練（新館）	岩田真美恵	12名
	安全委員会	・ 緊急時の対応訓練（新館）	牛尾 泉	安全委員
	安全委員会	・ 緊急時の対応訓練（新館）	安全委員	12名
8月30日	全体会議	・ 浜田市内のコロナ陽性拡大	岩田真美恵	18名
9月8日	全体会議	・ 浜田市内のコロナ感染拡大 （施設内の対応について）	岩田真美恵	本館7名
				新館7名
				その他3名
	リーダー会議	・ 施設内のコロナ対応手順	〃	10名
9月10日	虐待防止委員会	・ 虐待防止の指針について	岩田真美恵	10名
9月21日	虐待研修（本館会議）	・ 事例から	〃	本館12名
9月27日	虐待研修（新館会議）	・ 事例から	〃	新館13名
10月7日	安全委員会	・ 腰痛予防研修	牛尾 泉・ 佐々木真也	本館8名
				新館10名

10月8日 10月20日 10月28日 〃	サービス向上検討委員会③ 本館会議 (サービス向上検討) 新館会議 (サービス向上検討) 〃	・身体拘束等適正化講義と研修 ・身体拘束等適正化研修 〃 ・消防訓練 (日中想定)	岩田真美恵 三澤 興平・ 谷口芽生恵 奥本 雅次・ 盆子原美希 本館・新館リ ーダー	その他3名 12名 本館11名 新館13名 本館7名 新館7名 その他4名
11月4日 11月26日	安全委員会③ 安全委員会	・感染症及びまん延防止の要 綱、コロナの対応手順 ・コロナウイルスについて	岩田真美恵 佐藤医師	委員14名 本館8名 新館7名 その他5名
12月9日 12月21日 12月23日	安全委員会 サービス向上検討委員会 サービス向上検討委員会	・介護事故とリスクマネジメン ト (動画視聴) ・施設評価アンケートから考え る (新館) ・施設評価アンケートから考え る (本館)	烏野先生 岩田真由美 三澤 興平	本館10名 新館9名 その他3名 新館15名 新館9名
1月6日	安全委員会④	・感染症及びまん延防止の要 綱、ガウンテクニック	岩田真美恵	委員13名

(3) 本館研修

ア. 認知症について

月	内 容	講師	実績
9月21日	認知症勉強会「声量について」どんな影 響が	佐々木真也	9名
11月24日	認知症勉強会 認知症ケアの倫理・	三澤 興平	10名
3月24日	認知症勉強会 Aさんの事例から学ぶ	三澤 興平 佐々木真也	7名

(4) 法人研修

月	内 容	実績
9月1日～ 9月30日	法 人：プライバシーに配慮した援助 苑目標：プライバシーに配慮した声かけ ～人と人との関係性を大切にしていますか～	全職員

14 苦情・相談

(1) 苦情件数 1件

(2) 相談受付件数 (本館、新館共通)

項目	内容	件数
サービス要望	<ul style="list-style-type: none"> ・ 面会の相談 (県外、県内) ・ ワクチン接種が終了したか ・ 携帯電話について ・ 衣類について など 	38件
施設見学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症で問い合わせはなし 	0件
入所問い合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申し込みの方で、状態の変化による情報提供 ・ 申し込みの方で、空き状況の確認 など 	22件
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入院後の対応について ・ 利用料の支払いについて ・ 成年後見人の変更について ・ 負担限度額の申請について ・ 県外施設への入所申込みについて ・ ワクチン接種後の体調について など 	31件

15 設備の改修等

項目	内容
購入	<ul style="list-style-type: none"> ・ パソコン (栄養士用)、車椅子1台 (振り子型)、シャワーチェア
修繕・更新	<ul style="list-style-type: none"> ・ にじ棟廊下空調の更新、LED照明の更新、入力準備に係る設備

※ パソコンは、弥栄苑新館及び弥栄苑事業所 (短期入所) と共用

【サービス提供】

項目	計 画	実 績	
1. 食事	<ul style="list-style-type: none"> 入居者個々の栄養ケア・マネジメントを行い、状態にあった食事を提供する。 入居者の意思を尊重しつつ、リビング等で交流しながら食事ができるよう支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 担当者会議で、栄養士による栄養評価と、介護職員による日々のケアからの評価を基に、食事量や形態の見直しを行った。 入居者の関係性等を配慮し食事の席を検討、食事を楽しんでもらえるよう努めた。 	A
2. 排泄	<ul style="list-style-type: none"> 個々に適した排泄を支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切に排泄を支援することができた。 	A
3. 入浴	<ul style="list-style-type: none"> 快適で安全な入浴を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 室内を暖め、安全に配慮し入浴を実施した。 	A
4. 機能訓練	<ul style="list-style-type: none"> ユニット活動を通じ身体機能の維持改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動を提供することで「次は何をする」、「元気でおきましょう」と発言があり意欲の向上につながった。 	A
5. 心身関係	<ul style="list-style-type: none"> 心身共に健康に過ごすことができるよう、日々の健康管理を行う。 入居者の既往歴、服薬情報等を整理し、根拠に基づいたケアにつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の健康チェックを実施 入院者の実人数は3名で入院日数は58日であった。 嘱託医と情報共有することで、早期の治療につながり入院が減少した。 生活ファイルの服薬情報等を都度更新した。 	A
6. 相談及び援助	<p>① 入居者の心身の状況、適切な生活環境の把握。</p> <p>② 入居者、家族に常時必要な相談及び援助を行う。</p>	<p>① 入居者の状態変化に気づけるよう、言葉や表情の変化に気をつけた。気づいた内容は、職員間で共有し対応した。</p> <p>② 面会制限のため、直接会って相談を受けることは限られたが、電話での問い合わせ等には、丁寧な対応を心がけた。</p>	A

7. 社会生活上の便宜の提供	<ul style="list-style-type: none"> ① 入居者が充実した日常生活を送ることへの支援。 ② 入居者と家族との連携及び入居者とその家族との交流支援。 ③ 入居者の外出の機会を確保。 ④ 入居者が必要とする、証明等の交付申請などの代行。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 普段の会話や、要望を聴く場（ふれあいタイム）で、出された意見・要望には出来る限り応えた。 ② 昨年と同様に、新型コロナウイルスの流行により、面会制限や「家族会」を中止した。 施設から毎月1回の「便り」の送付や、体調の変化時に家族に報告するなど連携に努めた。 ③ 散歩を中心に、外出の機会を持った。 ④ 入居者、家族からの依頼を受け、申請などを代行した。 	A
8. 苦情対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設に対する意見等に真摯に対応し改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苦情1件 本館とつながりがあり、事実を確認後、会議を開催し改善策を身元引受人に報告して謝罪をした。 ・ ご家族のアンケートや電話での相談等について、施設全体で取り組んだ。 	B
9. 介護事故	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事故発生防止のための指針の整備。 ・ 事故が発生した場合の、分析を通じた改善策を、職員に周知徹底する体制の強化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画通り実施した。 ・ 事故報告・改善策の周知の体制を確認した。また、浜田地区広域行政組合への介護事故の報告を行った。 (報告件数3件) 	B
10. 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症や災害への対応力の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の場を利用して研修を行い周知した。 入居者の健康はもちろん、職員の健康面も、会議の議題にあげ取り組んだ。 ・ 設備の点検の実施 	A

11. 地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 施設が地域に開かれたものとして運営できるよう、地域との繋がりを持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 面会可能な時期は所定の場所で面会を実施した。地域行事や苑の行事は、感染症の流行で中止や開催ができなかった。 浜田地区広域行政組合が実施する介護相談員の派遣は、電話やZOOMで対応をした。 (11月・12月) 	A
------------	--	--	---

【人材育成】

1 施設内研修（本館・新館合同開催）

- (1) 職場外研修の実施状況（弥栄苑本館と共通 本館の報告資料13 に記載）
(2) 施設内研修の実施状況（弥栄苑本館と共通 本館の報告資料13 に記載）

2 目標面接

対象	実施期間	到達度
全職員	6月～7月 / 1月～2月	A

3 能力評価

対象	実施期間	到達度
全職員	1月～2月	A

【その他】

1 会議・委員会の開催

弥栄苑本館との共通開催（本館事業報告【その他】へ記載）

【報告資料】

1 月別利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
入居者	2	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	9	
退居者	3	2	0	1	1	0	0	0	0	0	1	2	10	
入院者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	4	
退院者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	
延日数	介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	介護度2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	介護度3	330	347	360	383	403	360	372	360	372	372	336	4,406	
	介護度4	284	223	210	217	210	240	279	270	279	279	280	251	3,022
	介護度5	572	635	630	635	620	600	589	570	584	559	500	534	7,028
延べ人数計	1,186	1,205	1,200	1,235	1,233	1,200	1,240	1,200	1,235	1,210	1,116	1,196	14,456	
1日当り人数	39.5	38.9	40.0	39.8	39.8	40.0	40.0	40.0	39.8	39.0	39.9	38.3	39.6	
入所率(%)	98.8	97.2	100	99.6	99.4	100.0	100.0	100.0	99.6	97.6	99.6	96.5	99.0	
平均介護度	4.20	4.23	4.22	4.20	4.17	4.20	4.17	4.17	4.17	4.15	4.14	4.10	4.18	
平均在居年	2.08	2.08	2.16	2.08	2.08	2.16	2.25	2.33	2.41	2.50	2.66	2.66	2.28	

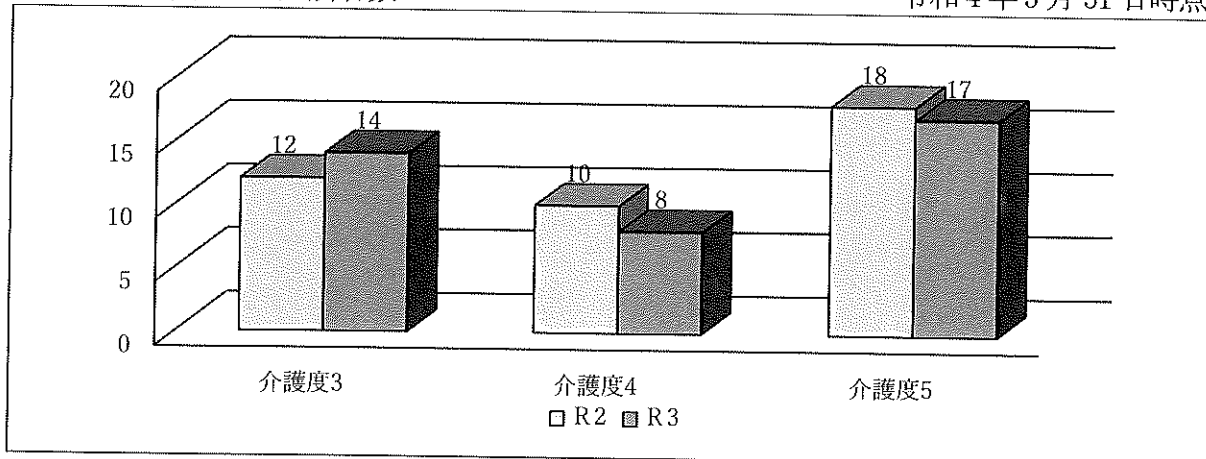
※ 入院者は月をまたいで継続している入院を含む。

2 介護度別の月末入居者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護3	R2	13	13	13	14	13	12	13	13	13	13	13	12
	R3	11	12	12	13	13	12	12	12	12	12	12	14
要介護4	R2	12	10	8	8	8	9	8	8	8	10	10	10
	R3	9	7	7	7	7	8	9	9	9	9	10	8
要介護5	R2	15	17	18	18	19	19	19	19	19	19	17	18
	R3	19	21	21	20	20	20	19	19	19	19	17	17

(1) 介護度別の入所者数

令和4年3月31日時点



3 入居者のADL（日常生活動作）の状況

(令和4年3月31日現在)

区分		壹番館		貳番館		参番館		伍番館		合計				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計		
移動	自立歩行	0	1	0	0	0	1	2	1	2	3	5		
	杖、歩行器使用	0	1	1	2	0	3	0	0	1	6	7		
	車椅子使用(自操)	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2		
	車椅子使用(他操)	0	3	0	1	0	3	1	3	1	10	11		
	リクライニング使用	0	3	1	5	2	1	0	2	3	11	14		
食事	自立	2	3	1	1	0	4	2	1	5	9	14		
	一部介助	0	2	0	2	0	2	1	0	1	6	7		
	全介助	0	3	1	5	2	1	0	5	3	14	17		
	胃ろう	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1		
入浴	自立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	一部介助	2	3	1	3	0	0	2	1	5	7	12		
	全介助	0	5	1	5	2	8	1	5	4	23	27		
着脱	自立	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3	3		
	一部介助	2	1	0	1	0	1	3	2	5	5	10		
	全介助	0	6	2	7	2	5	0	4	4	22	26		
排泄	昼間	便所	自立	0	1	0	0	0	0	2	1	2	2	4
			一部介助	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1
			全介助	0	0	0	1	0	3	0	0	0	4	4
	ポータブル	自立	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
		一部介助	1	3	1	2	0	1	0	0	2	6	8	
		全介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	おむつ	全介助	0	4	1	5	2	3	1	5	4	17	21	
	夜間	便所	自立	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
			一部介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			全介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ポータブル	自立	1	1	0	0	0	1	0	0	1	2	3
			一部介助	1	3	0	1	0	2	1	0	2	6	8
			全介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	おむつ	全介助	0	4	2	7	2	5	2	5	6	21	27	
バルーン留置		0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	2		

4 認知症高齢者の日常生活自立度状況

(令和4年3月31日現在)

I	II a	II b	III a	III b	IV	M	合計
0	1	3	5	7	20	3	39

5 入居者の入居前及び退居理由の状況

単位：人

	入居前						退居理由				
	在宅	病院	老健	養護	その他	合計	在宅	病院(死亡)	死亡	他施設へ転居	合計
男性	1	0	2	0	1	4	0	1	0	1	2
女性	2	1	1	0	1	5	0	2	6	0	8
合計	3	1	3	0	2	9	0	3	6	1	10

6 年齢階層別入居者状況（令和4年3月31日現在）

単位：人、歳

	65～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	100歳以上	計	年齢		平均年齢
							最高年齢	最低年齢	
男性	0	0	4	5	0	9	98	82	88.8
女性	0	3	11	15	1	30	102	74	89.2
合計	0	3	15	20	1	39			89.1

7 在居期間の状況（令和4年3月31日現在）

単位：人、年

	0～1年	1～3年	3～5年	5～10年	10～15年	15年以上	平均在居期間	最長在居期間	最短在居期間
男性	2	13	0	0	0	0	1.68	2.91	0
女性	5	7	8	4	0	0	2.94	6.91	0
合計	7	20	8	4	0	0	2.65		

※ 男女合計39人の平均在居期間は2.65年、3年未満の入居者は27人で全体の69.2%を占める。

8 行事等の実施状況

(1) 地域行事（弥栄苑本館と同様）

(2) ユニット行事

（あらかじめ年間計画をたて実施した行事及び、日々の意見を聴き実施した行事）

月	壺番館		式番館		参番館		伍番館	
	内容	人数	内容	人数	内容	人数	内容	人数
4月	ふれあいタイム	7名	音楽鑑賞	3名			ジャガイモ植え	1名
	お茶会	7名	茶話会	4名			花見	3名
							クッキング たまご焼き	7名
5月	苑外散歩	3名	貼り絵	3名	豆腐を食べる	5名	折り紙(あじさい)	2名
	苑外散歩	1名	ふれあいタイム	10名			外気浴	4名

			ゴーヤの苗 植え	4名				
			苑外散歩	3名				
6月	まき作り	10名	七夕飾り 願い事を書く	7名	顔なじみに 会いに	2名	ゴーヤ植え	3名
	顔なじみに 会いに	2名			七夕飾り作 り	2名	苗の手入れ	1名
	七夕飾り	2名						
	七夕飾り	4名						
7月	友人に会 いに	1名	夏祭り	10名	七夕会	10名	七夕飾りつ け	8名
					伍番館とお やつ作り	8名	七夕会	10名
							七夕の片づ け	4名
					ふれあいタ イム	8名	参番館とお やつ作り	7名
						ふれあいタ イム	8名	
8月	ふれあいタ イム	9名	ゴーヤの調 理	4名	すいか割り	4名	クッキング コロッケ作 り	10名
	フルーチェ 作り	10名	編み物	1名			すいか割り	9名
9月	敬老会	10名	敬老会	10名	敬老会	10名	敬老会	10名
	壺・忒合同 おはぎ作り	10名	壺・忒合同 おはぎ作り	10名	ミルクゼリ ーを食べる	9名	プリン作り ①	10名
			ふれあいタ イム	10名			プリン作り ②	10名
			ゲーム等	2名				
10月	たい焼き作 り (壺・忒合同)	8名	たい焼き作 り (壺・忒合 同)	6名	時季の物で 秋を感じる	5名	苑内散歩	4名
11月	生け花	4名	人形の着せ 替	3名	ふれあいタ イム (お茶 会)	6名	みんなでみ かんを食べ る	4名
							クリスマス ツリーの飾 りつけ	1名
							ふれあいタ イム	8名
12月	ツリー飾り つけ	5名	スムージー 作り	5名	クリスマス 会	10名	クリスマス 会	9名
	ふれあいタ イム	10名	ゆず風呂に	4名	クリスマス 会	10名		

	ホットケーキ作り	10名	壺・弐合同クリスマス会	10名				
	壺・弐合同クリスマス会	10名						
	苑内散歩	3名						
1月	書初め 甘酒で乾杯	8名	新年会 書初め	10名	新年会 福笑い	10名	新年会	9名
			ふれあいタイム	10名				
2月	雪に触れる	3名	節分	4名	節分	10名	ごぼう体操	3名
					ふれあいタイム	10名		
					羊羹を食べる	5名		
3月	ババロア作り	4名	ババロア作り	10名	寿司を食べる	9名	ふれあいタイム	9名
					流し雛	4名		
					紙飛行機作り	3名		

(3) 個別外出支援

入居者の希望を聞き、自宅訪問など遠出する外出支援は、新型コロナウイルスの影響で行わず、苑周辺の散歩などのユニット行事で楽しみを持っていただくように努めた。

(4) 家族との食事会（誕生日）

入居者の誕生日に家族を招いて行う食事会は、新型コロナウイルスの影響で、開催しなかった。

各番館で、誕生日のお祝いを行った。

(5) バイキング

37 ページの「本館【報告資料】 8. 行事等の実施状況」(4) に記載

(6) ボランティア受入れ状況

38 ページの「本館【報告資料】 8. 行事等の実施状況」(5) に記載

(7) 喫茶

内容	実施状況	参加人数
歌、編み物、回想法、カレンダー作り等	13～15回/月（新館）	2名（平均）

9 嗜好調査

(1) 共通事項 (自分で答えられる人)

① 食事の内容はどうか

	壱番館 6/10人	弐番館 7/10人	参番館 6/10人	伍番館 7/10人
ア. だいたい良い	6	4	5	4
イ. まあまあ	0	2	0	3
ウ. 良くない	0	1	0	0
回答なし	0	0	1	0

② 食事の味付けはどうか

	壱番館	弐番館	参番館	伍番館
ア. だいたい良い	6	6	3	7
イ. 濃い	0	0	0	0
ウ. 薄い	0	1	2	0
回答なし	0	0	1	0

③ 食事量はどうか

	壱番館	弐番館	参番館	伍番館
ア. だいたい良い	2	5	3	4
イ. ちよつと多い	3	2	2	3
ウ. 少ない	1	0	0	0
回答なし	0	0	1	0

④ おかずは食べやすい大きさですか

	壱番館	弐番館	参番館	伍番館
ア. だいたい良い	5	7	6	7
イ. 大きい	1	0	0	0
ウ. 小さい	0	0	0	0
回答なし	0	0	0	0

⑤ 一番好きな物はなんですか

壱番館	弐番館	参番館	伍番館
煮しめ	うどん	煮物	刺身
餅	漬物 (キムチ)	ばら寿司 (3名)	魚
果物	まぜご飯	果物	肉
まぜご飯	かぼちゃ	炊き込みご飯 (2名)	コーヒー
あんこ	果物	野菜が好き	雑煮
	魚	何でも好き	野菜が好き
	カレーライス		
	お寿司 (4名)		
	刺身		
	肉		
	甘い物 (2名)		

⑥ 嫌いな食べ物はなんですか

壱番館	弐番館	参番館	伍番館
魚	噛みにくいもの	魚のほぐし身	辛いもの (2名)
特になし (1名)	魚	豚肉	たまご
		特になし (1名)	温かいもの
			甘いもの
			魚は骨があるので

⑦ 食事のことで、感じておられることはありますか

壱番館	弐番館
・なし	<ul style="list-style-type: none"> ・ここのはみんないいです。 ・固いから、噛んでもこぼれる。 ・別にない「人がしてくれてるのに、あーじゃない、こうじゃーないと言うことはない」
参番館	伍番館
・おいしく食べてます。	<ul style="list-style-type: none"> ・肉が固い。 ・ちょっと固い。やわらかい方がいい。

(自分で答えられない方)

① 食事の内容はどうですか

	壱番館	弐番館	参番館	伍番館
	4/10人	3/10人	4/10人	3/10人
ア. だいたい良い	3	2	2	1
イ. まあまあ	1	0	1	2
ウ. 良くない	0	0	0	0
回答なし	0	1	0	0

② 食事の量は どうですか

	壱番館	弐番館	参番館	伍番館
ア. だいたい良い	4	2	3	1
イ. ちょっと多い	0	0	0	2
ウ. 少ない	0	0	0	0
回答なし	0	1	0	0

③ おかずは食べやすい大きさですか

	壱番館	弐番館	参番館	伍番館
ア. だいたい良い	3	1	3	3
イ. 大きい	0	0	0	0
ウ. 小さい	0	0	0	0
回答なし	1	1	0	0

④ 食べやすい・飲み込みが良い料理はどんな料理ですか

壱番館	貳番館	参番館	伍番館
ヤクルト	甘いもの	甘いもの(デザート) (2名)	甘いもの
牛乳	温かいもの		デザート類 (2名)
コーヒー	味の濃いもの (2名)		酢の味のするもの
デザート (生どら焼き)			
甘いもの (2名)			
味のはっきりしたもの			

⑤ 食べにくい・飲み込みが悪い料理はどんな料理ですか

壱番館	貳番館	参番館	伍番館
刺激のあるものにムせる (辛し和え、酢の物)	酢の物が苦手 みかん類の酸味	甘いもの (デザート)	味噌汁
味のないものが残る (付け合わせの野菜)	ミキサーの副食が固い時		

⑥ 食事のことで感じておられることはありますか

壱番館	貳番館
・季節があまり感じられないように思う。	・体調により口の開きが左右する。 ・1品ずつ食べていただきたいが、ミキサー食の方だと混ぜることもあり仕方がない。 ・出来るだけ味に変化があるよう介助している。
参番館	伍番館
・配膳時にミキサー食が熱すぎて、すぐに食べられない。	・栄養を考えられているが、量が多く品数が多いと思う。

10 お楽しみ調査

	壹番館 10/10名		貳番館 10/10名		参番館 10/10名		伍番館 10/10名		全体 40/40名	
	自分で答えられる方	自分で答えられない方	自分で答えられる方	自分で答えられない方	自分で答えられる方	自分で答えられない方	自分で答えられる方	自分で答えられない方	自分で答えられる方	自分で答えられない方
	6名	4名	7名	3名	6名	4名	7名	3名	27名	11名
家族、親戚の面会	4	3	6	3	3	3	3	1	16	10
食べること (食事・おやつ)	5	4	7	1	5	3	7	0	24	8
職員と棟の利用者 で料理をすること	0	0	2	0	0	0	2	0	4	0
お風呂に入ること	3	1	7	1	2	1	6	0	18	3
外出(散歩等)	3	0	4	0	2	0	5	0	14	0
趣味活動/折り紙 貼り絵・体操・歌・ガワサ	0	0	4	0	2	0	3	0	9	0
弥栄苑の売店 での買い物	0	0	2	0	2	0	1	0	5	0
自宅へ帰ること	3	1	4	0	2	0	1	0	10	1
グループで活動すること ふれあいタイム・クッキング	1	1	3	0	1	0	3	0	8	1
職員・仲間等とお しゃべりをする事	1	1	6	1	5	1	4	0	16	3
回答なし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

11 入院状況

(1) 月別入院状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
R2	6	4	3	3	1	2	2	0	0	1	0	0	22	1.8人
R3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	4	0.3人

※ 入院理由：てんかん薬の調整1人、腎盂腎炎1人、尿路感染症1人、間質性肺炎1人

(2) 入院状況数状況

単位：日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
R2	85	66	55	61	3	28	26	0	0	21	0	0	345	28.7日
R3	0	0	0	0	0	0	0	0	5	30	0	23	58	4.8日

(3) オンコール件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
3	3	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	10

※ オンコールの内容は、管の閉塞1件、転倒2件、意識低下の対応5件、看取り2件。

(4) 看取りの状況 退居者10名のうち5名の看取りを行った。

12 ヒヤリハット・事故報告書

(1) 月別ヒヤリハット発生件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
壺番館	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	4
弐番館	0	0	2	0	0	0	2	1	0	0	0	1	6
参番館	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	5
伍番館	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	0	3	4	0	1	0	4	1	1	0	0	3	17

(2) 番館別事故発生件数

	転倒	転落	すり落ち	打撲	裂傷	表皮剥離	誤嚥誤飲	誤薬	異食	離棟(徘徊)	離苑(行方不明)	骨折	しりもち	内出血	その他	合計
壺番館	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	10
弐番館	1	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	2	0	3	11
参番館	0	0	1	1	2	4	0	0	0	0	0	0	0	1	1	10
伍番館	3	1	1	0	0	3	0	0	1	0	1	0	1	2	0	13
合計	5	3	4	1	2	7	1	1	4	0	1	0	4	7	4	44
R2	19	2	4	1	6	12	2	6	5	0	0	1	6	11	8	83

※ その他の事故では、窒息1件、自傷2件、爪がとれかかる事故1件があった。

窒息1件は、背中へのタッピング等で吐き出すことができず、副食の食事形態を変更した。

自傷事故は、すぐに嘱託医の往診と薬の処方を受け、室内の環境整備（紐類の撤去等）をした。

保険で対応した事故はなし。

13 研修

(1) 職場外研修（弥栄苑本館と共通開催）

(2) 職場内研修（弥栄苑本館と共通開催）

(3) 新館研修

ア. 認知症について

開催日	内 容	講師	参加者数
8月27日	認知症勉強会（事例を通して Sさん）	盆子原美希	12名
11月24日	認知症勉強会（事例を通して Oさん）	和田めぐみ	13名
2月28日	認知症勉強会（事例を通して Kさん）	山崎美奈子	10名

(4) 法人研修（弥栄苑本館と共通開催）

14 苦情

(1) 苦情申出件数 1件

(2) 相談受付表 弥栄苑本館と共通

15 設備の改修等

項 目	内 容
購 入	・ パソコンの購入（栄養士）、シャワーチェア、車椅子2台（振り子型・車椅子）
修繕・更新	・ 入力準備に係る設備、エアコン更新8台、LED照明

※ パソコンは、弥栄苑本館及び弥栄苑事業所（短期入所）と共用

第3 第二種社会福祉事業

I 短期入所生活介護事業、介護予防短期入所生活介護事業

【経営】

項目	計 画	実 績	到達度
1. 収 入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の入所稼働率は70%を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用稼働率 75.5% 町内の独居の利用者が長期に利用された。 	A
定員：6床			
2. 支 出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症や災害への対応力強化を進める。 ・ 介護サービスの質の評価LIFE（科学的介護情報システム）へのデータ準備を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本館と同様の対応・対策を行った。 	A

【重点目標】

計 画	実 績	到達度
1 重度の利用者には、バランスの摂れた食事を提供し栄養状態の改善に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 嚥下状態の悪い方や水分量に制限のある方は、情報を多職種で共有し状態の改善に努めた。 	A
2 自立度の高い利用者には、意向を確認しながら趣味等の活動の場を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本館の棟行事に参加を呼び掛けた。 趣味活動は、意向を確認し、個々にあった活動を勧めた。 ・ 利用者から、自宅に帰ったときの在宅生活の不安などについて相談を受け、ケアマネジャーや家族に報告し連携に努めた。 	A

【サービス提供】

- 1 弥栄苑本館入所者と同様のサービスを提供した。

【報告資料】

1 月別利用状況

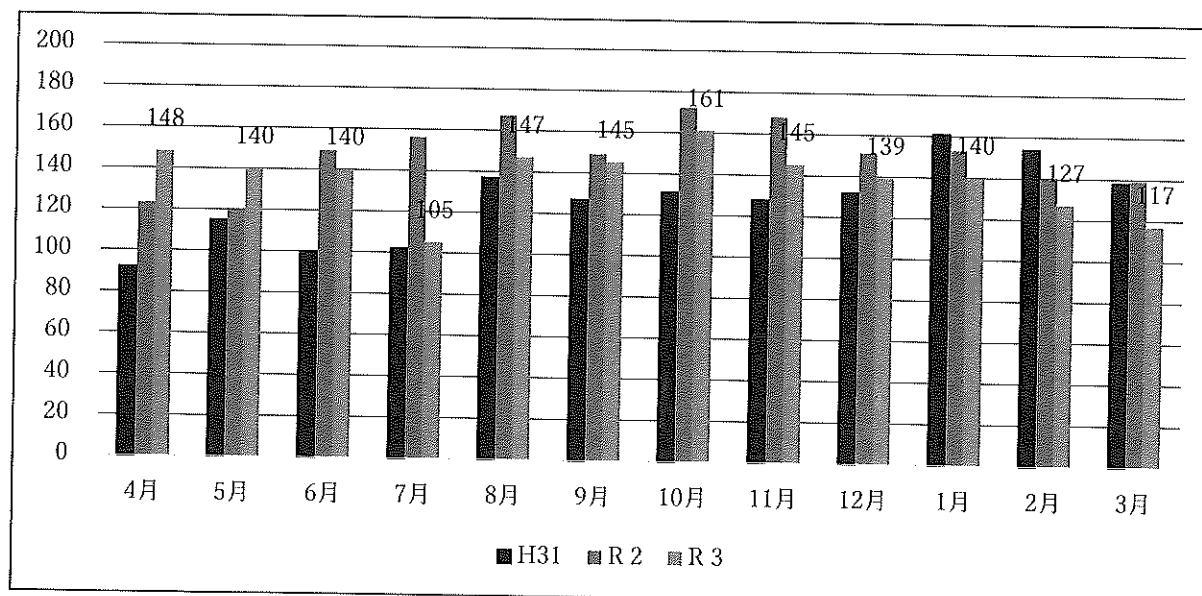
単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
延 人 数	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	介護度1	0	22	7	0	0	0	0	0	15	27	42	113	
	介護度2	37	32	65	46	48	65	49	29	45	54	66	53	589
	介護度3	67	57	48	45	55	31	60	59	45	40	8	0	515
	介護度4	17	18	17	11	41	46	49	54	46	19	23	19	360
	介護度5	27	11	3	3	3	3	3	3	3	12	3	3	77
延べ人数計	148	140	140	105	147	145	161	145	139	140	127	117	1,654	
1日当り人数	4.9	4.5	4.7	3.4	4.7	4.8	5.2	4.8	4.5	4.5	4.5	3.8	4.5	
入所率(%)	82.2	75.2	77.8	56.4	79	80.5	86.5	80.5	74.7	75.2	75.6	62.9	75.5	
平均介護度	3.23	2.74	2.60	2.72	2.99	2.91	3.03	3.21	3.05	2.70	2.28	2.04	2.79	
R2 入所率(%)	68.3	64.5	82.8	83.8	89.8	82.7	92.5	93.3	81.2	82.2	83.3	74.7	81.6	
R2 平均介護度	3.33	3.24	2.98	3.53	3.37	3.19	3.08	3.16	3.19	3.15	2.74	3.13	3.17	

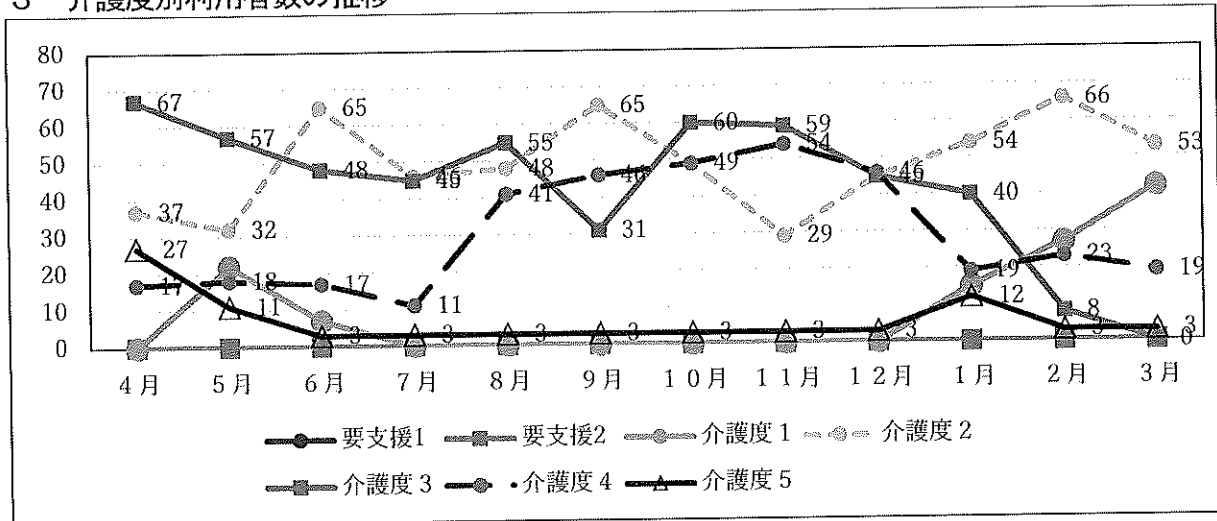
2 年度別、月別の利用状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H31	92	115	100	102	137	127	131	128	132	161	154	138	1,517
R2	123	120	149	156	167	149	172	168	151	153	140	139	1,787
R3	148	140	140	105	147	145	161	145	139	140	127	117	1,654



3 介護度別利用者数の推移



4 町内、町外別の利用状況

		利用人数(人)	利用率(%)	利用回数(回)	1回当たり平均利用日数(日)
H31年度	町内	854	56.3	106	8.0
	町外	663	43.7	89	7.4
R2年度	町内	1,264	70.7	92	13.7
	町外	523	29.3	81	6.6
R3年度	町内	1,296	78.4	95	13.6
	町外	358	21.6	31	11.5

※ 町内の利用1回あたりの平均利用日数は13.6日で、前年度と同様の利用日数を維持できた。

5 月別新規契約及び契約解除の状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規契約件数	0	1	0	1	0	1	1	0	0	1	0	1	6
契約解除者数	2	2	1	1	1	0	0	1	1	1	1	2	13
解除理由	施設入所	1	2	1	0	1	0	0	1	0	1	2	9
	死亡	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	4

6 ヒヤリハット・事故報告

(1) 月別ヒヤリハット発生件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	4
R3	0	0	4	1	3	0	0	0	1	0	0	0	9

※ ヒヤリハット9件は、要介護2と3の利用者であった。

6月の4件は、自宅に帰ろうと出口を探していた2件と、利用者が利用者に水分補給のお茶を飲ませてあげようとした行為が1件、自分で立位ができない方が、ベッドから足を下ろして座位姿勢になっていた1件であった。

対応策を協議し、事故の未然防止に努めた。

(2) 種類別事故発生状況

	転倒	転落	ずり落ち	打撲	裂傷	表皮剥離	窒息	誤薬	異食	離棟(徘徊)	離苑(行方不明)	骨折	しりもち	内出血	その他	合計
R2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	6	11
R3	2	1	5	0	2	1	1	1	1	0	3	0	1	0	3	21

※ 前年度より、事故の件数が増となった。

21件の事故の内、14件は要介護2と3の利用者であった。

その他の事故3件は、退苑後に点眼薬が残っていた事故1件、利用者が利用者にお茶を飲ませていた事故1件、利用者が他者の汚れていたズボンをホール洗面台で洗っていた事故1件であった。

認知症の疾患がある利用者の事故が多く、夜間はセンサーマットを使用して行動の確認を行った。

また、好まれる服があるため、入浴後すぐに乾かし着てもらうなどの対応を行った。

7 その他

項目	内容
購入	・パソコンの購入 (栄養士)、娯楽用冊子

※ パソコンは、弥栄苑本館及び新館と共用

II 弥栄デイサービスセンター（通所介護事業）

【経営】

項目	目標	実績	到達度
1. 利用者数	・ 指定通所介護事業、および従来の介護予防通所介護の利用者数を定員の1日20名を目標にする。	平均15名 (14.9)	C
(1) 指定通所介護事業 ① 弥栄デイサービスセンター (2) 介護予防・日常生活支援総合事業 ① 介護予防通所介護 ② 通所型サービスA（緩和型）		・ コロナ感染症での利用控えについては多くは無かった。2月3月の利用減少は、入院や怪我による長期欠席が多くあった。 ※ 以下詳細については報告資料《資料1》に掲載	
2. 経費の見直し	・ 利用者人数により職員の配置が決まる為、効率の良い人員配置を考慮しながら事業を進める。 ・ 燃料費削減の為、利用者に無理のない範囲で効率の良い送迎順を検討する。 ・ 今後の人材確保の為、看護職員の雇用検討と、介護職員については訪問介護事業との連携を検討する。	・ 効率の良い人員配置・送迎順について行った。	B B —

【サービス提供】

1 指定通所介護事業及び介護予防通所介護（従来型）

項目	計画	実績	到達度
1. 入浴	・ 身体の清潔を保持するとともに、全身状態の確認を行う。 ・ 身体状況に応じた入浴を行う。入浴が出来ない場合は、手足浴、清拭を行う。	・ 計画通り実施	A
2. 排泄	・ 適切な声かけや介助を行う。 ・ 身体状況に応じた排泄、清潔の保持を行う。	・ 計画通り実施	A
3. 食事	・ 身体状況（咀嚼・嚥下）、嗜好状況により個々のニーズに応じた食事を提供する。	・ 計画通り実施	A
4. 送迎	・ 身体状況に応じた送迎を行う必要があり、適宜見直しを行う。 ・ 声かけや介助を行い、安全に乗り降りを行う。	・ 計画通り実施	A
5. 機能訓練	・ 食事前の「口腔体操」を行う。 ・ 一人ひとりの身体状況を確認しながら	・ 計画通り実施 ・ 弥栄にこにこ体	B

	ら、日常生活動作・運動機能訓練を行い、身体状況の維持・向上を図る。訓練の結果が利用者や家族に見える仕組みを構築し、デイサービス利用の価値を高める。	操を継続。 ・ 訓練の結果が分かりにくく、利用者の満足感が得られなかった。	
6. 心身関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 血圧・体温測定、身体状況の観察や健康相談の実施で疾病を早期発見し、早期治療につなげる。 ・ 年4回の体重測定を実施する。 	・ 計画通り実施	A
7. 相談業務	<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス担当者会議、ケアカンファレンスを開催する。 ・ 把握した状態・情報を通所介護計画書に反映し、サービスの統一と最適化を図る。 	・ 月1回のカンファレンスを行い、サービスに反映できた。	A
8. レクリエーション・アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループや個人が楽しんで活動できるものを計画する。 ・ 認知機能の低下予防が図れるアクティビティを検討し導入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲向上につながる様なグループ、個人活動は出来た。 ・ 認知機能低下予防のアクティビティは検討したが、導入に至らなかった。 	B
9. 介護事故	<ul style="list-style-type: none"> ・ 些細な事でも報告をするという意識を持つ。 ・ 事故報告を元に発生要因を分析し、再発の防止を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報告のあった事例について検討し、再発防止に努めた。 《資料2》	A
10. 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種マニュアルの定期的な見直しを行い、事故を予防する事を目指す。 ・ デイサービスの避難訓練（火災・地震）を実施する。 ・ 地域住民の協力体制や一時避難所としての利用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練 弥栄苑と合同 6月24日(日中 想定でデイのみ で実施) 11月9日 	A
11. 苦情	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要望や意見を集約する。 ・ 苦情の申し出があった場合は、内容を真摯に受け止め迅速かつ、適切に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要望に随時対応した。 苦情0件 	A
12. 家族との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族との情報交換を積極的に行い、利用者の特性を把握する。 	・ 計画通り実施	A

13. 地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域で活動されているグループやボランティアの受け入れをする。 利用者の積極的な社会参加を促す為に地域行事への作品の展示を行う。 「生涯学習と健康福祉の集い」に参加し、利用者作品の展示や事業の紹介を行う。 訪問販売や詐欺等事件に遭わないように声かけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 町内の行事や催事がコロナで中止となる。 グループやボランティアの活動も訪問提案等無し。 《資料3》	-
その他		実績	到達度
1. サービスについての満足度把握	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の送迎時や担当者会議において要望や意見を集約し、サービスに反映する。 介護相談員が集約した利用者の意見・要望を聴き、サービスに反映する。 	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時や担当者会議での要望意見について対応した。 介護相談員の受入はコロナ対応のため実施せず。 《資料4》	B

2 通所型サービスA（緩和型）

項目	計画	実績	到達度
1. レクリエーション・アクティビティ	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の能力に応じ生活機能の維持向上の為に、自発的な動きが出来るように支援する。 達成感を味わうことで心身の活性化につながるように支援する。 利用者の仲間づくりのために、簡単な運動やゲーム、物づくりなどに参加できるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 キャンセル率低減のため、皆勤の取り組みを実施。 	A
2. 交流	<ul style="list-style-type: none"> 外出する事により、身体的・精神的に自信が持てるように支援する。 利用者同士による交流が図られるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 	A
3. 地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> 地域行事や住民による行事への参加など社会参加につながるよう支援する。 悪質な訪問販売や詐欺等の事件に遭わないように、声かけを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 	A
4. 相談業務	<ul style="list-style-type: none"> サービス担当者会議やモニタリングなどを行うことで、通所型サービス計画書に反映でき、サービスの最適化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 個々の希望・要望に対して随時対応した。 	A
5. 介護事故	<ul style="list-style-type: none"> 安全なサービスの提供のために、些細な事案のヒヤリハットまたは、事故 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 	A

	報告を行うとともに、発生要因を分析し再発防止を図る。		
6. 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練を実施し、自身で身の安全が図られるように支援する。 地域住民の協力体制や一時避難所としての利用を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 自宅での災害対策方法の提案を実施。 	A
7. 苦情満足度	<ul style="list-style-type: none"> サービスに際しての要望や意見を集約する。 苦情の申し出があった場合は、内容を真摯に受け止め迅速、かつ適切に対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 苦情無し 	A
8. 食事	<ul style="list-style-type: none"> 身体状況、嗜好状況により個々のニーズに応じた食事を提供する。 楽しみながら食事ができる雰囲気づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 	A
9. 送迎	<ul style="list-style-type: none"> 安全で快適な送迎を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 	A
10. 心身関係	<ul style="list-style-type: none"> 血圧・体温測定、身体状況の観察や健康相談の実施し、疾病を早期発見、早期治療につなげる。 年4回の体重測定を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施 	A

【人材育成】

- ・ 技術研修は、会場開催の研修会には参加しなかった。インターネットを利用した研修会に参加した。
 - ・ 法人研修に参加した。「プライバシーに配慮した援助」
 - ・ キャリアアップの為に目標面接や能力評価も行った。
- ※ 研修内容の詳細については《資料5》に掲載

【その他】

1 諸会議および委員会

(1) 会議

名 称	所掌事項	開催頻度	実績	到達度
デイサービス会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業運営及びサービスの改革に関する協議 ・ 行事計画 ・ 研修報告 ・ 施設内協議事項の報告および検討 ・ 職場環境に関する協議 	月1回	・ 計画通り開催	A
防災会議	<ul style="list-style-type: none"> ・ デイサービスにおける防災に関するマニュアルの作成と見直し。 	年2回	・ 弥栄苑防火管理委員会に参加	A
ケアカンファレンス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 通所介護サービス計画書の評価。 ・ サービス内容についての検討と周知徹底。 	月1回	・ 計画通り開催	A

(2) 委員会

名 称	所掌事項	開催頻度	実績	到達度
事故防止委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒヤリハット、事故報告書を元に原因分析や再発防止を検討し、実施に向け啓発を行う。 ・ 高齢者虐待防止や人権、介護事故に関する指針の整備、研修計画を立案・実施する。 ・ 運転事故に関するマニュアルの見直しをする。 <p>※ デイサービス会議内で実施</p>	月1回	・ 計画通り開催	A
感染症対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症に関するマニュアルの見直し。 ・ 感染予防に関する研修計画を立案・実施する。 ・ 感染症発生時の対応検討（随時） ・ 業務継続に向けた計画の検討、訓練の計画 <p>※ デイサービス会議内で実施</p>	2ヶ月に1回程度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務での消毒や環境整備を行った。 ・ 近隣の感染情報の収集を行った。 	A

(3) 他事業所との共催

名 称	所掌事項	開催頻度	実績	到達度
給食委員会	・ 利用者・入居者に最適な食事を提供する為の協議をする	月1回	・ 計画通り開催	A
防火管理委員会	・ 施設の適正な防火管理業務の運営を協議をする。	6月、11月	・ 計画通り開催	A
広報編集委員会	・ 広報紙「ひだまり」の編集に関すること	必要時	・ 計画通り開催	A
看護職員部会	・ 各事業所利用者の情報交換、資質向上のための疾病等の勉強会、職員の健康・衛生管理、特にメンタルヘルス対策の充実、その他、看護職員として必要な事項	年4回	・ 計画通り開催	A
環境美化委員会	・ 施設内外の環境の保全と美化推進に関する事	必要時	・ 必要時に開催	A
サービス担当者会議	・ サービス計画の評価・検討を協議する	随時	・ 必要時に開催	A
役職者研修会	・ 組織及び役職者としての役割の理解と実践自己のメンタル管理と自分で考える力を身につける	月1回	・ 計画通り開催	A
管理者会議	・ 円滑な事業運営を行う為、各事業所の運営状況の把握及び運営に係る課題の協議を行う	月1回	・ 計画通り開催	A

(4) 地域内の会議

名 称	所掌事項	開催頻度	実績	到達度
地域ケア会議	・ 弥栄町内の高齢者について情報交換と支援方法の統一を協議する。	月1回	・ ケアプランやさかのみの参加	-

2 職員体制

(1) 令和4年4月1日の見込

単位：人

職名	正規職員	パート職員	合計
所長・生活相談員 (訪問と兼任)	1人(0.5)		1人
事務員	1人(0.5)		1人
生活相談員	1人(0.4)		1人
看護職員・訓練指導員		2人(1.2)	2人
生活相談員兼介護員	1人 (相0.5介0.5)	1人 (相0.1介0.3)	2人
介護員		2人(1.8)	2人
運転手兼介護員		1人(0.5)	1人
合計	4人	6人	10人

※ () は常勤換算の人数
相は「生活相談員」、介は「介護員」

3 年間行事

新型コロナウイルス感染症の市内発生状況や、利用者の体調を考慮しながら、外出以外の行事を実施した。

※ 実施行事は《資料6》に掲載

報告資料

《資料1》

1 指定通所介護、介護予防・日常生活支援総合事業

(1) 指定通所介護および介護予防通所介護の利用状況

① 1日平均利用者数(目標20人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
営業日数	22日	22日	21日	23日	22日	21日	22日
要介護	237	222	203	246	222	222	265
要支援	104	97	97	100	91	97	96
計	341	319	300	346	313	319	361
1日平均利用者数	15.5人	14.5人	14.3人	15.0人	14.2人	15.2人	16.4人
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
営業日数	22日	22日	21日	20日	22日	260日	
要介護	267	274	227	183	189	2,757	
要支援	94	95	86	85	90	1,132	
計	361	369	313	268	279	3,889	
1日平均利用者数	16.4人	16.8人	14.9人	13.4人	12.7人	平均14.9人	

② 介護度別利用状況

ア (要支援)・・・総合事業従来型

単位：人

	31年度	R2年度	R3年度
要支援1	125	79	86
要支援2	1,144	1,200	1,046
合計	1,269	1,279	1,132

イ (要介護)

単位：人

	31年度	R2年度	R3年度
要介護1	708	865	993
要介護2	1,158	990	684
要介護3	276	433	467
要介護4	254	84	354
要介護5	244	163	259
合計	2,640	2,535	2,757

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業のうちの通所型サービスAの利用状況

① 月別利用者数

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R2年度	50	45	37	52	33	64	53	54	50	40	54	68	600
R3年度	56	48	67	53	48	61	45	45	54	41	38	54	610

② その他、実績

(ア) 介護度別利用登録人数

(3月31日現在)

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	支援1	支援2	事業対象者	合計
R2年度末	12人	13人	6人	2人	3人	6人	16人	10人	68人
R3年度末	13人	9人	6人	3人	2人	5人	16人	7人	61人

(イ) 年間月別の利用者延べ人数 (要介護者、要支援者、緩和型利用者) 単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
31年度	360	388	383	441	415	378	414	353	332	310	305	344	4,423
R2年度	318	384	392	399	334	374	398	380	384	319	336	396	4,414
R3年度	403	373	371	406	366	384	411	410	426	358	310	337	4,555

2 地域別利用登録人数

(3月31日現在)

	平成31年度末	令和2年度末	令和3年度末
浜田市内	0人	0人	0人
浜田 (鍋石)	0人	0人	0人
浜田 (櫛田原)	1人	1人	1人
浜田 (田橋)	2人	2人	2人
浜田 (長見)	0人	0人	0人
三隅町	8人	6人	5人
やすらぎの家	2人	2人	2人
弥栄町	47人	57人	51人
計	60人	68人	61人

《資料2》

1 介護事故

(1) ヒヤリハット、事故発生状況

単位：件数

種類	転倒・転落	裂傷・切傷	表皮剥離	入浴介助	対人トラブル	運転・車両関係	その他	計
ヒヤリ	2	0	0	0	0	0	2	4
事故	8	0	0	0	0	0	4	12
合計	10	0	0	0	0	0	6	16

(2) 場所別発生状況

単位：件数

場所	ホール・畳室	浴室・脱衣場	ベッド・静養室	トイレ	送迎車内	利用者宅道路等	利用者宅玄関等	デイ玄関	計
ヒヤリ	0	1	1	0	0	1	0	1	4
事故	4	0	1	3	0	1	1	2	12
合計	4	1	2	3	0	2	1	3	16

《資料3》

1 地域との連携

- (1) ボランティアの受け入れ、地域との交流
- ・ 地域の芸能グループから訪問の照会があったが、コロナ禍ということもあって先方の意向で訪問の予定を中止された。

《資料4》

1 その他、サービスについての満足度把握

- (1) 家族の要望・ご意見
- ・ 利用日の送迎時や、サービス担当者会議でご本人、ご家族とサービスの状況を都度確認を行った。
- (2) 介護相談員からのご意見
- ・ 当初は相談員の派遣の受入を行う予定だったが、派遣事業が中止となる。

《資料5》

1 内部研修

開催日	研修内容	講師及び担当者	参加者人数
9月1日～ 30日	法人全体研修 「プライバシーに配慮した援助」	法人役職者	10名

2 外部研修

開催日	研修名	主催者	場所	参加者
R3/9～	社会福祉主事任用資格	全社協	通信/Web	佐々井亜紀
R4/1/24	介護事業者のための業務 継続計画（BCP）作成 セミナー	厚生労働省老健局 ミネルヴァ株式会社 中部産業連盟	Web	金高 哲 牛尾 良美
R4/3/18～	対人援助職者は権利擁護 をどう考えるべきか	島根県社会福祉士会	Web	金高 哲

《資料6》

1 年間行事

月	利用者関係	施設および職員関係
4月	・ さくら見物 【中止】	
5月	・ つつじ見物 【中止】	
6月	・ ドラ焼きの日 ・ 消防避難訓練 6/24	・ 広報「ひだまり」の発行
7月	・ 七夕行事	
8月	・ 納涼祭（涼み会） 悪天候のため茶話会に変更	・ 職員健康診断
9月	・ 長寿のお祝い	
10月	・ 運動会 ミニゲームを実施	・ 害虫駆除（厨房のみ）
11月	・ ドラ焼きの日	・ 広報「ひだまり」の発行 ・ インフルエンザ [※] 予防接種 ・ 消防訓練
12月	・ クリスマス行事	
1月	・ お楽しみ会 神経衰弱	
2月	・ 節分行事 【中止】	・ 広報「ひだまり」の発行
3月	・ ひな祭り行事（ひな人形）【中止】	

※ 毎月、当月生まれの誕生者の方に誕生カードを送り、お祝いをした。

《その他》

1 苦情の状況

苦情件数・・・0件

Ⅲ 弥栄ヘルパーひだまり（訪問介護事業） 事業報告

【経営】

項目	目標	実績	到達度
訪問時間	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険事業、介護予防・日常生活支援総合事業の訪問時間の目標を、1ヶ月あたり 560時間とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 月平均 434 時間 達成率 78% 	B
収入の確保	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターやケアマネジャーと連携をとり、新規利用者の確保に努める 訪問可能なスケジュールを把握し、相談、依頼があればすぐに対応できる体制を整える 	<p>利用可能な曜日、時間を常に把握しておき、対応に備えた。</p> <p>居宅介護支援事業所に、新規利用者の紹介をお願いした。</p>	A
人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> 今後の経営の安定を図るため募集を行い、雇用・育成を行う。 	<p>パートタイム職員 1名を採用した。</p> <p>通所介護事業所の職員 2名を兼任として業務を行った。</p>	B

1. サービス提供地域	報告資料 1 に掲載(地域別利用者数)
2. 介護保険事業 (1) 指定訪問介護事業	報告資料 2 に掲載
3. 介護予防・日常生活援助事業 (1) 介護予防訪問介護 (2) 訪問型サービス A	報告資料 3 に掲載 報告資料 4 に掲載

【サービス提供】

項目	計画	実績	到達度
1. サービス計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の状態や生活の状況を把握し、必要なサービスの提供が出来るよう計画する 	計画通り実施	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者や家族等が望む、サービスの提供が出来ているか評価を行い、サービスの改善をはかる 	要望を確認し改善につなげることが出来た。	
2. 状態の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の事業所と連携して利用者の状態を把握する 	計画通り実施	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の体調や状態の変化を見逃さない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問時の状態の変化を見逃さないようにした。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活上での不安や困りごとの相談に対し、しっかり話を聞き問題点の把握に努める 		
3. 身体介護	<ul style="list-style-type: none"> ・ 状態に合わせて利用者の負担にならない介護が行えるように、技術向上をはかる 	計画通り実施	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 羞恥心への配慮を心がけ、自尊心を傷つけないよう利用者の身になって接する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者に合わせて対応が行えるよう、事業所内で技術の研修を行った。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 残存機能を生かし、出来る事は継続して行えるよう支援を行う 		
4. 生活援助	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の生活歴やこだわりを理解して支援する 	計画通り実施	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体調や病気に配慮した調理を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の際に情報交換し、サービスを統一することに努めた。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の有する能力を損なわないように配慮し、支援を行う 		
5. 危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症についての知識、対応を身につける 	計画通り実施	A
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染の媒体にならないよう、意識して行動する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修を行い、常に気をつけるよう心掛けることが出来た。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の状態が急変した時などの対応が円滑に出来るよう、マニュアルをもとに研修を行う 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ マニュアルの見直しを行い、必要に応じ改善する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ マニュアルの見直しが不十分だった。 	B
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者が悪質な訪問販売や詐欺の被害に遭わないよう、必要な情報を提供し助言を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問時に気をつけるように声掛けをした。 	A
6. 苦情対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苦情の申し出に対しては、迅速、かつ適切に対応し、安心してサービスを継続させていただけるよう、サービスの改善をはかる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苦情3件 	A

7. 事故防止	・ ヒヤリハットの報告件数を増やす	・ 事故報告4件 ヒヤリハット0件	B
	・ 事故、ヒヤリハット報告をもとに発生要因の分析を行い、再発防止を図る	・ 事故発生防止委員会で再発防止対処方法を徹底した。	A

【人材育成】

訪問介護員一人一人が同じ意識を持ち、同レベルのサービスを提供するために、外部研修に参加する予定であったが、コロナ禍であるため、参加を見送った。

- ・ 法人研修に参加した。「プライバシーに配慮した援助」
- ・ キャリアアップの為に目標面接や能力評価も行った。

※ 詳細については、報告資料4に掲載

【その他】

1 会議、委員会

(1) 会議

名称	所掌事項	開催頻度	実績・到達度
ヘルパー会議	利用者への支援内容の検討と評価、研修報告、その他事業に係る事の検討を行う	1回/1ヶ月	計画通り実施

(2) 委員会

名称	所掌事項	開催頻度	実績・到達度
事故発生防止委員会	ヒヤリハット、訪問中の事故に対して原因を分析し、防止に努める	随時	計画通り実施

(3) 他事業所との共催

名称	所掌事項	開催頻度	実績・到達度
役職者研修	組織及び役職者としての役割と実践、自己のメンタルヘルスマネジメントと自分で考える力を身につける	1回/1ヶ月	12回/12回参加
管理者会議	円滑な事業運営を行うため、各事業所の運営状況の把握及び運営に係る課題の協議を行う	1回/1ヶ月	計画通り参加
広報編集会議	広報「ひだまり」の編集など	3回/年	
防火管理委員会	施設の防火管理業務の適正な運営を図る	2回/年	

サービス担当者 会議	サービス計画の評価と見直 しの検討をする	サービスの更 新時やケアマネ ジャーからの依 頼があったとき に参加した。	
---------------	-------------------------	---	--

(4) 地域内の会議

名 称	所掌事項	開催頻度	実績・到達度
地域ケア会議	弥栄町内の高齢者の情報の 共有、支援に対する目的の統 一など	1回/1ヶ月	居宅のみの参 加。

2 職員の状況

(1) 令和4年3月31日現在

単位：人

職 名	正規職員	パート職員	合 計	備 考
所 長	1		1	通所介護事業所管理 者兼務
サービス提供責任者	2		2	訪問介護員兼務
訪 問 介 護 員		7	7	再雇用職員含む
事 務 員	1		1	他事業所と兼務
合 計	4	7	11	

(2) 上記職員のうち正規職員4名の兼任状況

職 名	人数	弥栄ヘルパーひだまり勤務					他事業所の 業務へ従事
		管理者	サービス 提供責任者	訪 問 介 護 員	事務	計	
所 長	1	0.5				0.5	0.5
サービス提供責任 者兼訪問介護員	2		1.0	0.6		1.6	0.4
事 務 員	1				0.3	0.3	0.7
合 計	4	0.5	1.0	0.6	0.3	2.4	1.6

《報告資料》

1 サービス提供地域別利用者数

訪問地域	平成30年度末	平成31年度末	令和2年度末	令和3年度末
弥栄町内	29人	26人	24人	25人
寿光苑	3人	5人	4人	3人
三隅町内	9人	9人	10人	22人
櫛原、田橋、横山	3人	2人	2人	2人
浜田市内	9人	6人	5人	5人
	54人	48人	45人	57人

2 指定訪問介護事業

(1) 要介護1～5の利用者訪問時間数、訪問実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2年度	431:00	412:00	380:15	419:30	394:45	429:30	431:45	416:00	380:15	331:25	330:30	349:45	4706:40
	34	33	35	35	36	36	38	40	34	33	33	34	421
3年度	316:30	287:45	306:45	299:30	366:50	378:45	404:40	377:30	379:00	365:30	374:20	472:45	4329:50
	33	34	35	34	35	37	41	40	37	37	39	39	441

※ 単位：上段は時間、下段は人

(2) 月当たりの利用状況

(小数点以下四捨五入)

		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
月当たりの 平均利用人数	弥栄事業所	26人	40人	35人	37人
	浜田出張所	9人	—	—	—
	合計	35人	40人	35人	37人
月当たりの 平均利用時間	弥栄事業所	349時間	482時間	392時間	361時間
	浜田出張所	126時間	—	—	—
	合計	475時間	482時間	392時間	361時間

※ 浜田出張所は、平成30年度末をもって廃止した。

(3) サービス内容別訪問時間数、延回数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体	2年度	129:00	124:30	128:30	142:30	131:15	159:00	133:45	144:30	146:15	146:15	167:30	176:15	1729:15
	3年度	146:30	111:45	116:45	112:00	109:20	132:15	157:30	153:30	145:30	135:00	96:05	136:15	1552:25
		211	173	187	169	172	201	231	219	206	187	138	194	2,288
身体・ 生活	2年度	238:00	225:30	186:45	204:00	189:30	184:30	170:00	175:30	162:00	121:10	102:00	117:30	2076:25
	3年度	108:00	106:00	119:30	125:30	184:00	169:30	167:10	134:00	126:30	141:00	190:15	207:00	1778:25
		81	86	95	102	146	134	140	112	105	123	168	176	1,468
生活	2年度	64:00	62:00	65:00	73:00	74:00	86:00	128:00	94:00	72:00	64:00	61:00	56:00	899:00
	3年度	62:00	70:00	70:30	62:00	73:30	77:00	80:00	90:00	107:00	89:30	88:00	129:30	999:00
		62	70	72	62	87	90	95	105	121	102	102	146	1,114

※ 単位：2年度及び3年度の上段は時間、3年度の下段は回数

3 指定介護予防訪問介護・総合事業（介護予防従来型・緩和型）

(1) 介護予防従来型（要支援1～2）

① 利用者訪問時間数、訪問実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2年度	89:00	85:00	81:00	81:00	71:00	58:00	49:00	48:00	69:00	58:30	59:00	68:00	816:30
	12	12	11	11	10	9	7	8	9	9	9	9	116
3年度	66:00	59:00	63:00	69:00	72:00	79:00	70:00	77:00	86:00	76:00	68:00	74:00	859:00
	10	11	11	11	12	12	12	14	15	13	14	12	147

※ 単位：上段は時間、下段は人

② 月当たりの利用状況

(小数点以下四捨五入)

		平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
月当たりの平均利用人数	弥栄事業所	10人	12人	10人	12人
	浜田出張所	2人	—	—	—
	合計	12人	12人	10人	12人
月当たりの平均利用時間	弥栄事業所	54時間	81時間	68時間	72時間
	浜田出張所	13時間	—	—	—
	合計	67時間	81時間	68時間	72時間

※ 浜田出張所は、平成30年度末をもって廃止した。

③ サービス内容別訪問時間数、延回数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問サービスⅠ	2年度	19:00	20:00	16:00	25:00	15:00	18:00	14:00	12:00	14:00	10:00	12:00	13:00	188:00
	3年度	18:00	19:00	24:00	26:00	23:00	26:00	31:00	31:00	40:00	34:00	26:00	32:00	330:00
		18	19	24	26	23	26	31	31	40	34	26	32	330
訪問サービスⅡ	2年度	57:00	52:00	53:00	43:00	43:00	40:00	35:00	38:00	55:00	49:00	47:00	55:00	567:00
	3年度	48:00	39:00	33:00	43:00	49:00	53:00	39:00	46:00	46:00	42:00	42:00	42:00	522:00
		48	39	33	43	49	53	39	46	46	42	42	42	522
訪問サービスⅢ	2年度	13:00	13:00	12:00	13:00	13:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	64:00
	3年度	0:00	1:00	6:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	7:00
		0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7

※ 単位：2年度及び3年度の上段は時間、3年度の下段は回数

※ 訪問サービスⅠ：1月につき週1回程度の訪問

訪問サービスⅡ：1月につき週2回程度の訪問

訪問サービスⅢ：1月につき週2回を超える程度の訪問

(2) 緩和型（要支援・事業対象者）

① 訪問時間数、訪問実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2年度	6:10	5:20	5:50	6:10	4:30	8:40	10:50	8:40	8:40	8:40	8:40	5:20	87:30
	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	2	30
3年度	4:30	4:00	2:00	2:30	1:30	2:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	16:30
	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	8

※ 単位：上段は時間、下段は人

② サービス内容別訪問時間数、延回数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
A1	2年度	4:10	3:20	3:20	4:10	2:30	6:40	8:20	6:40	6:40	6:40	6:40	3:20	62:30
	3年度	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00
		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A2	2年度	2:00	2:00	2:30	2:00	2:00	2:00	2:30	2:00	2:00	2:00	2:00	2:00	25:00
	3年度	4:30	4:00	2:00	2:30	1:30	2:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	16:30
		2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	8

※ 単位：2年度及び3年度の上段は時間、3年度の下段は回数

※ A1：1回につき45分以上60分未満

A2：1回につき20分以上45分未満

4 人材育成

(1) 施設外研修

開催日	研修名	研修内容	主催者	場所	参加者
1/24	介護事業者のための業務継続計画（BCP）作成セミナー	BCP作成について	厚生労働省老健局 ミネウアベリス(株) 中部産業連盟	Web	金高
3/18	対人援助職者は権利擁護をどう考えるべきか	高齢者虐待防止研修	島根県社会福祉士会	Web	金高

(2) 施設内研修

実施年月日	研修内容	参加人数
4月28日	脱水の症状	7人
5月26日	事故再発防止のために	8人
6月23日	食中毒について	10人
7月28日	「大脳皮質基底核変性症」について	10人
8月26日	移動介助のコツ	9人
9月21日	コロナワクチンと治療薬	9人
10月27日	心肺蘇生法、AED使用法	8人
11月24日	ガウンテクニックについて	9人
12月23日	感染症症状の違いや予防策	10人
1月26日	【中止】	
2月23日	腰痛予防とストレッチ	10人
3月23日	バリデーションについて	11人

5 苦情の状況

苦情・・・3件

	申出人	発生時	内容	対応・結果
1	家族	サービス実施時	職員の言動への不満	謝罪する 会議にて職員への指導を実施し 解決
2	本人	サービス実施時	作業内容への不満	謝罪と苦情申出人の希望を実施 し解決
3	本人	サービス実施時	作業内容への不満	謝罪と苦情申出人の希望を実施 し解決

IV 弥栄ヘルパー（障がい者向け訪問介護事業） 事業報告

【経営】

目 標	実績	到達度
訪問の依頼があった場合、迅速に利用者に必要なサービスの支援が開始できるよう対応する	目標通り実施	A

【サービス提供】

項 目	計 画	実 績	達成度
1. 身体介護	・ 羞恥心への配慮を心がけ、自尊心を傷つけないよう利用者の身になって接する。	計画通り実施	A
2. 家事援助	・ 利用者の生活歴やこだわりを理解して支援する。 ・ 利用者の有する能力を損なわないように支援を行う。	計画通り実施	A
3. 心身関係	・ 利用者の体調や状態の変化に配慮して対応する。	計画通り実施	A
4. 相談援助	・ 利用者の状態や生活の状況を把握し、必要なサービスの計画を策定する。	計画通り実施	A
5. 通院介助	・ 利用者状態を把握し、安全に配慮して支援を行う。	計画通り実施	A
6. 苦 情	・ 苦情の申し出には迅速、かつ適切に対応し、安心してサービスを継続させていただけるよう、サービスの改善に努める	苦情0件	—

【人材育成】

1 研修参加報告

(1) 外部研修

外部研修へは参加しなかった。

(2) 内部研修

「弥栄ヘルパーひだまり」の研修に併せ実施した。
弥栄ヘルパーひだまり「《報告資料》4」に掲載

【その他】

1 会議

「弥栄ヘルパーひだまり」の会議に併せ開催した。
弥栄ヘルパーひだまり「【その他】1 会議、委員会」に掲載

2 職員の状況

介護保険事業所「弥栄ヘルパーひだまり」の職員が兼務した。

《報告資料》

1 障がい福祉サービス事業（居宅介護）

(1) 訪問時間数、訪問実人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2年度	86:00	71:00	80:00	78:00	96:30	99:00	123:30	106:30	80:00	64:00	60:30	66:00	1011:00
	4	2	3	2	3	3	3	3	3	2	2	2	32
3年度	61:30	62:00	9:00	7:00	33:30	67:30	57:30	7:00	9:00	8:00	8:00	9:00	339:00
	2	2	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	17

(2) サービス内容別訪問時間数、延回数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	2年度	19:30	18:00	19:30	19:30	19:30	18:00	19:30	19:00	19:00	18:30	17:30	20:00	227:30
	3年度	17:30	15:30	0:00	0:00	9:00	18:30	15:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	75:30
		35	31	0	0	18	37	30	0	0	0	0	0	151
家事援助	2年度	56:00	46:30	48:30	45:30	64:00	64:00	71:30	61:00	54:30	41:00	37:00	41:00	630:30
	3年度	38:30	35:30	9:00	7:00	24:30	38:00	32:30	7:00	9:00	8:00	8:00	9:00	226:00
		36	34	9	7	23	36	31	7	9	8	8	9	217
通院介助	2年度	10:30	6:30	12:00	13:00	13:00	17:00	32:30	26:30	6:30	4:30	6:00	5:00	153:00
	3年度	5:30	11:00	0:00	0:00	0:00	11:00	10:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	37:30
		1	2	0	0	0	4	2	0	0	0	0	0	9

※ 支援内容 家事援助…調理 買物
身体介護…出勤前の食事確認、整容、入浴介助、通院介助

2 浜田市地域生活支援事業（移動支援）訪問時間数、延回数

(1) 訪問時間数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
31年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2年度	0	0	0	2:00	5:30	0	0	0	3:00	2:00	8:00	1:30	22:00
3年度	6:00	6:30	5:00	0:00	0:00	14:30	10:00	5:00	0:00	0:00	0:00	0:00	47:00

第4 公益事業

I ケアプランやさか(居宅介護支援事業) 事業報告

【経営】

項目	目 標	実 績	到達度
1 収入			
居宅介護支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 介護報酬に伴う担当件数 月平均 55 件(月平均利用者 55 人) 	<ul style="list-style-type: none"> 月平均 <u>54.1 件</u> 達成率 98.3% 加算請求の取り組み 年間の介護報酬総額に対して 1.2%実施(請求)できた。 	B
※ 詳細については、報告資料(1)～(4) (6)に掲載			
受託業務	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント業務の受け持ち件数 月平均 50 件(月平均利用者 50 人) 要介護認定訪問調査 月平均 3 件 家族介護者交流事業(介護教室 年 2 回) 	<ul style="list-style-type: none"> 月平均 <u>40 件</u> 達成率 80.0% 月平均 <u>5.9 件</u> 8月28日に予定した1回目は、感染状況により中止した。 3月19日に介護教室を実施し総勢 27 名の参加があった。 	B A A
※ 詳細については、報告資料 (1) ～(4)に掲載			
2 人材の確保	経営の安定を図るため、職員の育成・定着及び資質の向上に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、資格更新に伴う研修や支援業務に関する研修に、オンラインで参加し、資質向上に努めた。 	A

【重点目標】

	重点目標	実績	到達度
1	利用者とそのご家族とのコミュニケーションを重視し、おかれている立場の把握や内外的な要因を取り除くことによって、信頼関係を築くよう努めます。	常に利用者の立場に立って支援することを心がけ、信頼関係を深めることに努めた。	A
2	課題分析(アセスメント)を正確に行なうことによって、利用者及びご家族の抱える課題や問題と向き合います。	正確な課題分析を心がけ、課題解決に努めた。	A

3	今、必要とされる介護保険制度やサービス提供等の情報を適切に詳しく説明するとともに、医療機関との情報連携を図ります。	情報収集に努め、利用者に必要な情報を提供した。	A
4	正確な身体の状態や生活環境等を把握し、その方の状態にあったサービスを提供できるよう、定期のモニタリング(サービス実施状況の把握及び評価)を行います。	利用者に最適なサービスが提供できるよう、重点目標のとおり実施することに努めた。	A
5	常に利用者の立場に立ち、何が今必要とされているかを一緒に考え対応します。	重点目標のことを常に心がけ対応した。	A
6	サービス事業所の選択に当たっては、利用者若しくはその家族の自由な選択を尊重し、複数の事業所の紹介を求めることが可能であるなどの説明を行ないます。	サービス事業所の選択が自由にできるよう、情報を提供した。	A

【サービス提供】

項目	計画	到達度
1 質の高いケアマネジメントの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の意思と人格を尊重し、常に利用者の立場にたって居宅介護支援を行なう。 ・ 必要に応じて、生活支援サービスの提供の組み合わせや、事業所間連携などを行ない、質の高いケアマネジメントを目指す。 <ol style="list-style-type: none"> ① 課題分析の実施 ② 居宅サービス計画の作成支援 ③ 実施状況の把握 	A ・ 計画通り実施
<p>※ 令和3年12月1日に浜田地区広域行政組合による実地指導が実施され、介護保険事業が適正に運営できるよう改善への指導を受けた。</p> <p>計画書の作成内容等について助言をいただき、適正にサービス提供ができるように努めた。</p> <p>改善指示事項として、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 重要事項説明時に利用者が同意したことの確認ができない。 ② サービス担当者会議に提出する居宅サービス計画の取扱いについて順序が異なる事例がある。 ③ 主治医等の意見を求めず医療サービスを位置付けている事例がある。 ④ 重要事項の掲示がない。 ⑤ 記録漏れの事例がある。 ⑥ 入院日の記載がない。 <p>などの指摘があった。</p> <p>①については、書式を変更して訪問時に押印していただく。④については、重要事項を掲示するとともに規程と一緒に窓口に備え置く。その他の事項については、ケアマネジメント・プロセス確認表を作成して点検を行うこととし、研修を行い改善に努めた。</p>		

2	危機管理	<p>① 個人情報の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言動や行動に注意し秘密保持厳守に努める。 ・ 法令及び守秘義務を遵守する。 ・ 個人情報の漏えい防止のため、保管庫施錠、デスク上の整理に努める。 <p>② 感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症についての知識及び対応を身につけ、自らが感染の媒体にならないよう配慮する。 ・ 感染症に伴うサービスの変更等に、速やかに対応する。 ・ 感染症の発生及びまん延等に関する対策を強化する。 <p>③ 災害や被害への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者が、悪質な訪問販売や詐欺の被害に遭わないよう、情報提供し助言する。 ・ 防災についての呼びかけや、避難所の確認などを行なう。 ・ 感染症や災害が発生した場合であっても、必要なサービスが継続的に提供できる体制づくりに取り組む。 	A ・ 計画通り実施
<p>※ 新型コロナウイルス感染症に関する予防対策の統一を図り、事業所内での感染予防に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者宅への訪問時には、訪問前後に携帯用消毒液を使用して手指消毒、マスクの着用、玄関戸の開放、玄関口での面談等を行い、利用者及び家族や職員自らの感染予防に努めた。 ・ 新型コロナウイルス陽性者の発生状況や感染状況の把握に努め、サービス提供事業所間との情報共有を図りながら、利用の休止等について調整を行った。 <p>※ 令和4年度からの施行へ向けて、次の指針を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 虐待防止のための指針 ・ ハラスメント防止のための指針 ・ 感染症の予防及びまん延の防止のための指針 			
3	相談・苦情への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談や苦情を受け付けた場合は、迅速かつ適切に対応し改善を図る。そのため、受付時等の対応について、相手に不快感を与えないように行う。 	A ・ 苦情の申し出はなかった。
<p>※ 次のような事例があったため、職場内で対人関係等の研修を行い改善した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改修工事の請負業者を通さず、下請け業者と直接交渉を行った事例が1件あった。 ・ 介護サービスの利用について、説明を詳しくしてほしいとの依頼が1件あった。 			
4	地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域や関係機関との協力や連携に努め、積極的に取り組む。 	A ・ 計画通り実施
<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月開催される「地域ケア会議」に出席し、意見交換を行った。 ・ 介入が困難なケースは、行政や関係機関と連携し同行訪問を行った。 			

【人材育成】

1 研修

介護支援専門員は、広範囲な分野の知識と情報を必要とする専門職であるという認識を持ち、専門員研修以外にも、オンラインでの研修を受講し、資質向上に努めた。

(1) 職場内研修

研修内容 (計画)	到達度
<ul style="list-style-type: none"> 外部研修参加の復命 困難ケースの検討及び新規ケースの情報の共有、事業所全体での依頼ケースのケア取組など 利用者の人権擁護、虐待防止等について 	A 毎月開催するケアマネ会議に併せ実施した。
<ul style="list-style-type: none"> 法人全体研修 (プライバシーに配慮した援助) 	A 9月1日～9月30日

(2) 職場外研修

種類	研修内容 (計画)	参加状況
第1種研修	介護保険制度、総合事業に関する研修	8月、2月開催 3人参加
	介護支援専門員・主任介護支援専門員の資格更新に伴う研修	4月～9月開催 島田、杉原 参加
	要介護認定訪問調査従事者研修	7月開催 3人参加
	地域ケアネットワーク研修会	未開催
	医療関係・認知症・虐待防止に関する研修	日程調整がつかず不参加
	権利擁護・後見人制度に関する研修	未開催
	メンタルヘルス研修	未開催
	人事・労務に関する研修	未開催
	※ 居宅ケアプラン研修	11月開催 3人参加
	※ 業務継続計画 (BCP) 作成セミナー	1月に開催 島田参加
※ 今年度は上記の研修が計画され、浜田会場での受講や動画配信等で受講ができた。 研修内容 (計画) 欄の※印の研修は、当初計画に追加された研修である。 なお、新型コロナウイルスの影響からか未開催のものがあった。		

2 目標面接と能力評価

- 4～5月に、職員に業務目標及び自己目標を設定してもらった。
- 12月に、職員個別に能力評価をしてもらい、結果を基に面談を行なった。

【その他】

1 会議、委員会

(1) 会議

名 称	内 容	到達度
ケアマネ会議	<ul style="list-style-type: none"> サービス提供に係る留意事項の伝達、運営規程遵守の確認など。 実地指導結果の報告、改善へ向けての研修を行った。 対人関係、対人援助技術等について研修 	A
※ 計画の作成に伴う職員の関わりや判断に迷うケースについては、随時職員間で情報共有や相談を行いながら、ケアプラン点検・伝達・確認を行うように努めた。		

(2) 法人内他事業所との共催

名 称	所掌事項	到達度
管 理 者 会 議	円滑な事業運営を行なう為、各事業所の運営状況の把握及び運営に係る課題の協議を行なう。	A 計画通り実施した。
防火管理委員会	施設の防火管理を適正に行えるよう検討する。	
広報編集委員会	広報誌『ひだまり』の編集	

(3) 法人外他事業所との共催

名 称	所掌事項	到達度
担 当 者 会 議	サービス計画の立案及び情報提供、サービス実施の評価、計画の見直しなどを行う。	A 随時実施
気づきの事例検討会	ケアマネジメントのスキルアップを目的に、他の居宅介護支援事業所と共同で事例検討会・研修を行なう。	A 6月30日に開催され参加した。

2 公益的事業の推進及び地域との連携

名 称	所掌事項等 (計画)	実施状況等
地域ケア会議	町内在住の要支援高齢者の情報共有と、包括支援が円滑に取り組まれるよう、会議が毎月1回開催され、出席する。	毎月1回開催され参加した。
弥栄地区拡大地域ケア会議 (仮称)	町内の包括ケアシステムの構築に向けて、関係者が集まり検討を行う。年2回開会される会議へ出席する。	3年度は開催されなかった。

弥栄地区ささえあい協議体会議	社会福祉協議会を中心に、町内の「支えあい活動」の波及、「地域づくり」への連携・協同を図るため、年3回開催される。	6月15日に1回開催され参加した。
浜田市第1層協議体会議	各地区の協議体での活動報告や協議内容を基に、浜田市生活支援体制整備に関わる体制の構築を図るため、年2回開催される。	7月28日に1回開催され参加した。
浜田市社会福祉法人ネットワーク連絡会	広域的な社会福祉法人の連携・協働による地域公益活動へ取り組むため連絡会が設立された。 担当者会へ参加し他の法人との連携を深めながら、法人単独では取り組めない事項について、連携・協働し事業に取り組む。	5月26日と7月20日に開催され参加した。
やすらぎの家の入居者支援等	<ul style="list-style-type: none"> ・ やすらぎの家利用促進 ・ 生活相談、助言 ・ 各種サービスの紹介、利用支援 など 	計画通り実施した。
高齢者等生活支援事業の実施等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業充実の検討 ・ 各種サービスの紹介、利用支援 ・ 声かけ訪問、支援員訪問の実施 など 	計画通り実施した。

3 職員体制

単位：人

職名	人数	ケアプランやさか業務			その他	備考 (有資格)
		介護支援	事務	計		
管理者	正規職員	1.00	0.75	0.75	0.25 (公益事業)	主任介護支援 専門員 介護支援専門 員 介護福祉士 准看護師
介護支援 専門員	正規職員	1.00	1.00	1.00		
	パート職員 (週30時間勤務)	0.75	0.50	0.50	0.25 (公益事業)	
事務員	正規職員	1.00		0.20	0.80 (他事業所)	
合計		3.75	2.25	2.45	1.30	

※ 介護支援専門員(常勤換算)1人あたりの利用者担当件数が35件(介護給付)を基準として対応した。

※ パート職員の勤務時間は、1週30時間であった。

※ その他欄の公益事業は、やさかやすらぎの家の相談業務、日常生活援助事業、高齢者等安心生活支援事業などを行った。

【報告資料】

(1) 令和3年度中の新規契約及び契約終了数と年度末の契約者数

単位：人

		契約者の増		契約者の減		増減	契約者数
要介護	26	新規契約 (要支援からの変更を含む)	33	療養型病床への入院、特養入所、転居、死亡、要支援への変更等により終了	-7	62 内サービス利用者 (48)	
要支援	9	新規契約 (事業対象者、要介護からの変更含む)	23	長期入院・養護入所による休止、要介護への変更等による	-14	45 内サービス利用者 (37)	
合計	35		56		-21	107 (85)	

※ 契約者数欄の()内の数値は、介護報酬・委託料の対象になったサービス利用者の数である。

※ 令和3年度末の契約者は107人で、そのうちサービス利用者(介護報酬・委託料請求件数)は85人であった。

(2) 年度末の地域別利用者数

単位：人

		弥栄町内	寿光苑	三隅町	旧浜田市	合計
2年度	要介護	43	3	4	3	53
	要支援・事業対象者	37	2	6	1	46
	合計	80	5	10	4	99
3年度	要介護	36	3	5	4	48
	要支援・事業対象者	32	2	2	1	37
	合計	68	5	7	5	85

※ 令和3年度末の寿光苑を含む弥栄町内の利用者が全体に占める割合は、要介護者は48人の内81.3%で、要支援・事業対象者は37人の内91.9%となった。

(3) 利用者の生活状況

単位：人

	家族と同居	高齢者夫婦	独居	施設入所	合計	うち夫婦でサービス利用
R2年3月	40	17	33	14	104	6(3組)
R3年3月	38	17	35	9	99	10(5組)
R4年3月	34	13	30	8	85	6(3組)

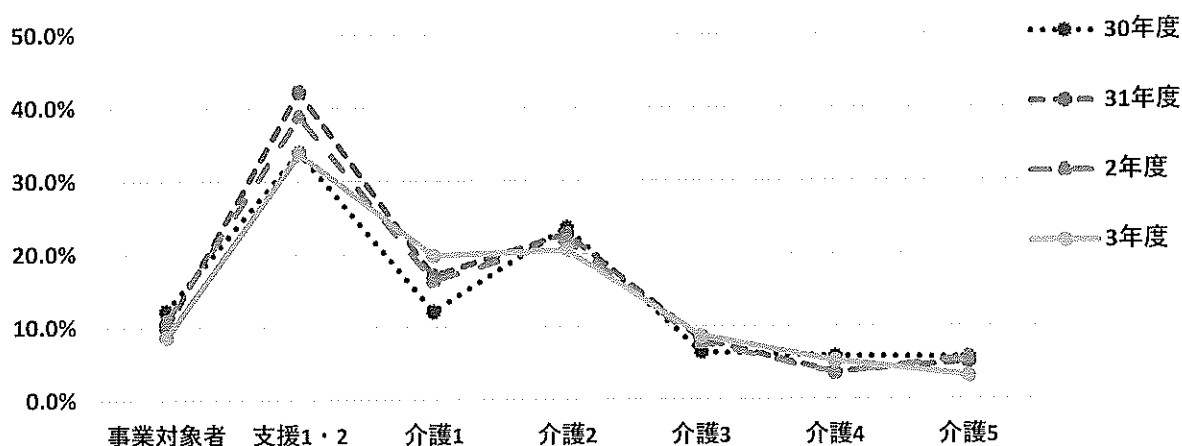
※ 施設入所は、養護老人施設及びやすらぎの家

(4) 介護度別年間利用者状況

単位：人

	事業対象者	支援1・2	計	介護1	介護2	小計	介護3	介護4	介護5	小計	計	延べ利用人数
30年度	140	387	527	138	269	407	74	67	65	206	613	1,140
31年度	114	482	496	194	259	453	94	42	58	194	647	1,243
2年度	124	443	567	186	249	435	89	41	65	195	630	1,197
3年度	98	382	480	224	231	455	98	60	36	194	649	1,129

介護度別年間利用状況



(5) 要介護認定訪問調査実施状況

単位：人

	在宅	施設	合計	備考
31年度	73	45	118	
2年度	13	26	39	
3年度	35	36	71	市からの要請に柔軟に対応できた。

(6) 介護報酬加算の状況

① 初回加算、入院時情報連携加算

	加算	初回加算	入院時情報連携加算	請求合計	介護報酬に対する割合
	単位数	300単位/月	入院から3日以内 200単位/月 入院から4日以上7日以内 100単位/月		
31年度	算定人数	30人	3人	96,000円	1.1%
	請求金額	90,000円	6,000円		
2年度	算定人数	24人	6人	83,000円	0.9%
	請求金額	72,000円	11,000円		
3年度	算定人数	31人	10人	112,000円	1.2%
	請求金額	93,000円	19,000円		

※1 初回加算は、新規利用者の居宅サービス計画作成を支援した場合に該当する。

※2 入院時情報連携加算は、利用者が入院する際に、医療機関の職員に対して、当該利用者の心身の状況、生活環境などの必要な情報を提供した場合に該当し、入院から3日以内の情報提供と、4日以上7日以内に情報提供した場合の2種類ある。

② 特定事業所加算

令和3年度の介護報酬の改定で新たに設けられた「特定事業所加算(A)」を請求する計画であったが、事業所へ配置する介護支援専門員の数が不足しているなど、加算制度の要件を満たすことができないため請求することができなかった。

(7) 家族介護者交流事業 実施状況

事業	実施日	内容	参加者数
介護教室	令和4年3月19日	・ NPO法人 弥栄発リハビリネットと共催で、「認知症に関する映画観賞会」と「リフレッシュ体操」を行った。	27名

※ 1回目を8月28日に計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

(8) 特定事業所集中減算に係る判定届けの状況

判定基準	判定内容
対象サービス	訪問介護・通所介護・地域密着型通所介護・福祉用具貸与
対象率	紹介率80%以上

※ 前期、後期ともに通所介護と訪問介護については紹介率が80%を超えたため、届出書の提出を行なったが、特地加算地域内である割合が90%以上であったため、正当な理由に該当し、減算には至らなかった。

ア【前期】(令和3年3月～令和3年8月)の届出対象となった事業の紹介率状況

訪問介護	通所介護	地域密着型通所介護	福祉用具貸与
弥栄ヘルパー ひだまり 100%	弥栄デイサービス 91.2%	共生型お天気いいね 5.0%	岩多屋事業部 40.0%
	美川デイサービス 2.2%	花あかり 25.0%	植野建材店 27.1%

イ【後期】(令和3年9月～令和4年2月)の届出対象となった事業の紹介率状況

訪問介護	通所介護	地域密着型通所介護	福祉用具貸与
弥栄ヘルパー ひだまり 100%	弥栄デイサービス 90.5%	花あかり 66.7%	岩多屋事業部 42.4%
	デイサービスあいの会 美川デイサービス 3.2%	共生型お天気いいね 33.3%	植野建材店 26.8%

II 高齢者等生活支援事業

1 日常生活援助事業

種 類	計 画	到達度
法人独自の 公益事業	<ul style="list-style-type: none"> 自立と生活の質の確保を図り、介護予防に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施
① 介護用品斡 旋及び相談	<ul style="list-style-type: none"> 介護用品等についての電話・訪問による相談及び斡旋、日常生活上の相談 	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険利用者以外の相談はなかった。
② 訪問サービ ス	<ul style="list-style-type: none"> 食材の買い物や調理、洗濯、住居等の掃除、生活必需品の買物 食事介助、排泄、体位交換、入浴、清拭等、外出、通院、散歩等の付添い 	<ul style="list-style-type: none"> 延べ5人が74回の利用 前年度に比べ60回の増。
③ 通所サービ ス	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険外の利用とする外出支援 半日利用や入浴のみの利用も可能 通所利用後の受診に伴い、家族対応が困難な場合の支援 	<ul style="list-style-type: none"> 延べ56人の利用 前年度に比べ8人の減。 (回数超過の希望に対応)

2 高齢者等安心生活支援事業

種 類	計 画	到達度
法人独自の 公益事業	<ul style="list-style-type: none"> 孤立感を解消し、一人でも安心して生活できる生活環境を関係機関とともに確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施
<p>(1) 声かけ訪問</p> <p>【事業内容】 高齢者宅を定期的に訪問し、声かけ、安否確認、状態把握等を行ないながら相談相手や顔なじみになることなどで、孤立感の解消を図る。</p> <p>【対象者】 浜田市弥栄町内に住所を有する75歳以上の高齢者のみの世帯、及び日常の健康状態や近隣の協力体制から支援が必要と認められる65歳以上の高齢者のみの世帯とする。 ただし、弥栄福祉会が実施する介護保険事業及び、受託事業の利用者と同じ敷地内に親族等が在住する者を除く。</p> <p>【実施状況】 対象世帯のうち同意をいただいていた訪問世帯は、年度当初38世帯であったが、訪問していた対象の方が死亡されたり、介護保険に移行されたことなどによって対象外になったため、年度末には大きく減少し8世帯になった。 定期的な訪問や、安否確認を行う他の支援グループなどと連携し身体状況や日常生活上の心配ごとなどの情報収集を行い、必要に応じて定期外の訪問を行うことによって高齢者の不安解消に努めた。 次年度へ向けて、行政などの協力を得て新たに対象者の把握・見直しなどを行い、事業実施を推進する必要がある。</p>		

(2) 支援員訪問

【事業内容】

高齢者等から、体調の変化などの理由により支援要請の連絡を受けた場合は、支援員が訪問して相談や必要な支援などを行なう。

支援員の訪問は、原則として2名体制とする。

【対象者】

浜田市弥栄町内に住所を有する75歳以上の高齢者のみの世帯、及び日常の健康状態や近隣の協力体制から支援が必要と認められる65歳以上の高齢者のみの世帯とする。

□ 支援状況（利用状況と対応内容）

対応日	対応時間	対象者	内容
1月11日	8:30～ 11:50	91歳 男性 独居	<ul style="list-style-type: none">弥栄デイサービスセンターの職員から、迎えに行ったが休むと言われていると連絡がある。 前日、行方が分からなくなったため捜索したところ、荷物を背負い山道で滑って転んだ状態で発見された経緯があったため、心配になり様子を見に訪問した。 自宅に入るなり、火災が発生しており、初期消火及び男性の救出を行い、ご家族への連絡や、消防、警察等の事情聴取に対応した。
1月29日	12:00～ 12:15	91歳と83歳 高齢者夫婦	<ul style="list-style-type: none">配食サービス業者から、訪問した際に対応がないと連絡がある。 利用者が不在にする場合は、業者へ連絡することになっているので、心配になり安否確認に訪問した。 玄関に施錠がしてあり、電話にも出られないため、ご家族に状況を報告した。
3月3日	17:00～ 17:50	90歳 男性 独居	<ul style="list-style-type: none">浜田市外に在住のご家族から、『電話をしたが、様子がおかしいので、見に行つて欲しい。』と連絡があり、訪問した。 喉の痛みが強く、食事・水分が摂取困難な為、医療機関に相談し、ご家族に連絡し帰ってきて頂いた。

※ 受付から訪問先を退去するまでを対応時間とし、3件の相談・対応を行なった。

Ⅲ 住宅型有料老人ホームの経営

1 やさかやすらぎの家運営事業

種類	計画	到達度
住宅型 有料老人ホーム	<ul style="list-style-type: none"> 地域における高齢者向けの住まいとしての役割を果たす。 日常生活に不安を持つ高齢者への生活指導、及び生活支援などを行なう事により、介護予防を推進し高齢者の健康を保持する。 共同生活を通じて、社会的孤独感の解消を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施

【事業内容等】

1 入居定員： 6名

2 業務： 常駐の職員を置かず、介護保険事業所の職員が兼務で次の業務を行った。

【部門別の業務等】

部門	業務計画等	到達度
① 事務・管理部門	<ul style="list-style-type: none"> 施設の運営の総括管理 契約事務 施設運営に関する庶務及び会計業務 その他事務、管理 利用料の収受 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施
② 生活支援部門	<ul style="list-style-type: none"> 生活相談、助言 介護保険サービスの紹介、利用支援等 その他生活支援 生活支援 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施
③ 健康管理部門	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な安否確認 その他健康管理 健康相談 	<ul style="list-style-type: none"> 計画通り実施
④ 食事の提供	<ul style="list-style-type: none"> 予約制により弥栄苑（空きスペース）に来ていただいて食事（朝食、昼食、夕食）を提供する。 	<ul style="list-style-type: none"> 2,956食提供 前年度に比べ165食の増。

※ サービス向上検討委員会設置規程に基づき、身体拘束等適正化に向けての取り組みなどの職員研修を行った。

※ 家族懇談会は、前年度と同様に新型コロナウイルス感染拡大防止のため、また、弥栄苑が面会制限を行っていたこともあり開催しなかった。

※ マスクの着用、手洗いと消毒スプレーの使用など、新型コロナウイルス感染予防対策の励行を入居者へ要請した。

3 他のサービス利用： 日常生活に食事の提供、介護サービスの提供等が必要な場合は、日常生活援助事業、介護保険事業などを利用していただいた。

□ やすらぎの家 入居状況（月別利用率） 単位：%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
31年度	100	100	100	100	100	100	100	100	100	98.4	98.9	90.3	99.2
2年度	100	83.3	62.2	50.0	51.1	66.7	73.7	100	83.9	83.3	83.3	83.3	76.7
3年度	83.3	83.3	83.3	83.3	76.3	66.7	66.7	68.9	83.3	83.3	83.3	83.3	78.8

※ 1ヶ月の平均利用率は78.8%で、前年度に比べ2.1%の増となった。

事業報告の附属明細書

社会福祉法第59条第1号に基づき報告する令和3年度事業報告の附属明細書については、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため作成していません。

令和4年5月

社会福祉法人 弥栄福祉会
理事長 石橋正夫

